第十四回帝國議會　貴族院議事速記錄第二十四號

明治三十三年二月十四日（水曜日）

午前十時十三分開議

議事日程第二十四號　明治三十三年二月十四日

午前十時開議

第一　明治三十一年度豫備金支出ノ件外三件承諾ヲ求ムルノ件（政府提出衆議院送付）　會議

第二　右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選擧

第三　商法施行前ニ登記ナキ株式會社ノ登記ニ關スル法律案（政府提出衆議院送付）　第一讀會

第四　右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選擧

第五　郵便爲替法案（政府提出衆議院送付）　第一讀會ノ續（特別委員長報告）

第六　電信法案（政府提出衆議院送付）　第一讀會ノ續（特別委員長報告）

第七　郵便法案（政府提出衆議院送付）　第一讀會ノ續（特別委員長報告）

第八　鐵道船舶郵便法案（政府提出衆議院送付）　第一讀會ノ續（特別委員長報告）

第九　東京市ニ關スル法律案（衆議院提出）　第一讀會ノ續（特別委員長報告）

第十　殖林ノ爲設定シタル地上權登記ニ關スル法律案（衆議院提出）　第一讀會ノ續（特別委員長報告）

第十一　支那調查會ノ事業助成ニ關スル建議案（侯爵黒田長成君外七名發議）　會議

○議長（公爵近衛篤麿君）　是ヨリ報告ヲ致シマス

〔小原書記官朗讀〕

昨十三日本院ニ於テ同意シタル衆議院回付鑛業條例中改正法律案ハ卽日內閣總理大臣ヲ經由シテ裁可ヲ奉請シ及同意ノ旨衆議院ニ通知セリ

同日本院ニ於テ可決シタル左ノ衆議院提出案ハ卽日內閣總理大臣ヲ經由シテ裁可ヲ奉請シ及可決ノ旨衆議院ニ通知セリ

重罪控訴豫納金規則廢止法律案

經罪控訴規則廢止法律案

罰金及追徵ニ係ル上告豫納金廢止法律案

蟲害地地租特別處分法案

同日本院ニ於テ修正議決シタル左ノ政府提出案ハ卽日衆議院ニ送付セリ

日本動產銀行法案

保險業法案

同日本院ニ於テ可決シタル種馬所設置ニ關スル請願外十二件ノ請願ハ意見書ヲ付シテ卽日政府ニ送付セリ

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

鐵道營業法案

私設鐵道法案

同日辻新次君、加藤弘之君、高橋新吉君ヨリ六十二名ノ贊成ヲ以テ國字國語國文ノ改良ニ關スル建議案ヲ、兒玉淳一郎君、五十嵐甚藏君ヨリ三十七名ノ贊成ヲ以テ　順德天皇御遺跡保存ニ關スル建議案ヲ孰モ發議セラレタリ

委員長副委員長左ノ通當選セラレタリ

日本勸業銀行法中改正法律案特別委員會

委員長　侯爵細川　護成君　副委員長　松平　正直君

臺灣ニ在勤スル官吏ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案外二件特別委員會

委員長　伯爵坊城　俊章君　副委員長　子爵內田　正學君

裁判所及臺灣總督府法院共助法案特別委員會

委員長　子爵錦織　敎久君　副委員長　兒玉淳一郎君

在外國帝國專管居留地特別會計法案特別委員會

委員長　子爵青木　信光君　副委員長　水野　遵君

○子爵錦織敎久君　是カラ裁判所及臺灣總督府法院共助法案ノ特別委員會ヲ開キタウゴザイマスガ御差支ハゴザイマセヌカ

○議長（公爵近衛篤麿君）　モウ少シ後ニ願イマス、唯今少シ人數ニ疑ガアリマス、是ヨリ本日ノ日程ニ移リマス、明治三十一年度豫備金支出ノ件外三件承諾ヲ求ムルノ件、政府提出、衆議院送付、會議

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲メ茲ニ載錄ス以下之ニ同シ〕

一明治三十一年度豫備金支出ノ件

一明治三十一年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

一明治三十一年度特別會計豫備金支出ノ件

一明治三十一年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件

右本院ニ於テ承諾スヘキモノト議決セリ依テ議院法第五十四條ニ依リ及通知候也

明治三十三年二月十二日　　衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤麿殿

〔政府委員阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(阪谷芳郎君)　是ハ三十一年度ニ於ケル豫備金支出其他ノ件デゴザリマシテ例年ノ通リ事後ノ承諾ヲ求メマス次第デ、別段ニ申上ゲマス程ノコトモゴザリマセヌデ、ドウゾ速ニ承諾ヲ與ヘラレムコトヲ希望致シマス

○議長(公爵近衛篤麿君)　別ニ御發議ガナクバ委員ノ選定ニ移リマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤麿君)　議長指名デ御異議ハゴザリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤麿君)　商法施行前ニ登記ナキ株式會社ノ登記ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

商法施行前ニ登記ナキ株式會社ノ登記ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十三年二月十二日　　衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤麿殿

商法施行前ニ登記ナキ株式會社ノ登記ニ關スル法律案

農工銀行法ニ依リ設立シタル株式會社ニシテ商法施行前ニ商法中登記ヲ要スヘキ事項ニ付登記ナキモノハ本法施行ノ日ヨリ三箇月以内ニ其ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

〔政府委員松尾臣善君演壇ニ登ル〕

○政府委員(松尾臣善君)　唯今議題ニナリマシタ商法施行前ニ登記ナキ株式會社ノ登記ニ關スル件デゴザイマスガ、是ハ沖繩縣ニ農工銀行法ニ依ッテ銀行設立ヲ許シマシタ、所ガ沖繩縣ハ御承知ノ通リニ舊商法ハ施行シテゴザイマセヌ、新商法ガ昨年ノ三月以降施行セラレタノデゴザイマス、其以前ニ農工銀行法ニ依ッテ農工銀行ハ設立シマシテ、當時商法ガ施行セラレマセヌガ爲ニ登記モシテナカッタノデゴザイマス、所ガ新商法ノ方ニハ舊商法ニ依ッテ既ニ登記シタモノハ新商法ニ依ッテ又登記ヲスルト云フ條ガ揭ゲテゴザイマシテ、是マデ商法ノ施行地デナイ所ノ株式會社ヲ登記スルト云フ途ガ開ケテゴザイマセヌガ爲ニ登記ヲ爲スコトガ出來マセヌ譯デゴザイマス、故ニ此法案ヲ出シマシテ登言ノ途ヲ開カムトスルモノデゴザイマスカラ、ドウカ御協贊ヲ與ヘラレルヤウニ願ヒマス

○議長(公爵近衛篤麿君)　別段御發議ガナクバ委員ノ選定ニ移リマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤麿君)　議長指名デ宜シウゴザイマスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤麿君)　郵便爲替法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

〔子爵岡部長職君演壇ニ登ル〕

○子爵岡部長職君　郵便爲替法案ニ附キマシテノ特別委員會ノ審査ノ經過竝ニ結果ヲ御報告致シマス、此案ニ附キマシテ委シク政府委員ノ方ニモ質問ヲ致シ、且ツ衆議院ニ於テ修正ニナリマシタル所ノ點ニ附イテモ政府ノ意見モ問ヒマシタノデアリマスルガ、政府ニ於テ衆議院ノ修正即チ第十二條ニ「又ハ爲替金ノ拂戻」ト云フ字ヲ加ヘルコトノ修正ニ附キマシテハ別ニ異存モナイコトデアリマス、此法案ハ委員會ニ於キマシテ別ニ修正ヲ加ヘル必要モ認メズ、至極相當ノモノト云フコトデ可決致シマシテゴザイマス、登壇ノ序ニ同委員ニ付託ニナリマシタル所ノ電信法案、郵便法案及鐵道船舶郵便法案、此三案ノ調査ノ結果ヲ御報告致シマス、電信法案ニ附キマシテ衆議院ノ修正ガアリマスル、ソレハ二條、三條、十一條、二十二條、二十八條、四十三條ニ亘ッテ居リマスガ、併シ是ハ極ク細カイコトデアリマシテ、政府ニ於テ御異存ガナイト云フコトデアリマス、別ニ一々擧ゲテ申上ゲル程ノコトモゴザイマセヌト存ジマスガ、御質問ガアリマシタラ申上ゲルコトニ致シマス、特別委員ニ於キマシテハ此法案ノ四十二條ニ修正ヲ加ヘマシタノデアリマス、此修正ハ過日法人ニ於テ租稅及葉煙草專賣ニ關シ事犯アリタル場合ニ關スル法律案ヲ議セラレマシタル際ニ、本院ニ於テ議決ニナリマシタル所ノ法文ノ精神ヲ以テ本條ヲ修正致シマシタノデアリマス、政府案ノ如クニ致シテ置キマスルト、過日ノ本院ノ議決ノ主意ト違ヒマスノデアリマス、ソレデ過日ノ議決

ノ結果トシテソレニ應ズルダケノ法文ニ致シマシタノデアリマス、其修正文ハ諸君ノ御手許ニ回ハリ居リマスコトデアリマスカラ、別ニ朗讀ハ致シマセヌ、特別委員ノ修正ハ四十二條ノミデアリマシテ其他ハ原案ノ儘デ、卽チ衆議院送付案ノ儘デ差支ナイト云フコトニ決シマシテゴザイマス、次ニ郵便法案、是ハ衆議院ニ於キマシテ第十八條、郵便物ノ種類ノ料金ノ表デアリマス、其第三種ノ新聞雜誌ニ課スル所ノ料金ノ割合デアリマス、卽チ料金ノ割合ハ矢張リ五厘ト一錢ト云フコトデアリマスガ、五厘ノ方ハ「一號一箇重量十六匁又ハ其ノ端數毎ニ」ト云フ原案ヲ衆議院ハ「二十五匁」ト云フコトニ致シタノデ、又二ノ方ニモ「二號又ハ二箇以上一束重量十六匁又ハ其端數毎ニ」トアリマスノヲ「二十五匁」ト致シタ、卽チ料金ハ同ジコトニシテ重ミヲ殖ヤシマシタ、詰リ衆議院ノ方デハ新聞雜誌ノ方ニ大イニ便利ヲ與ヘルト云フ方ノ修正デアリマス、此修正ニ附キマシテハ政府ハ同意致シニクイト云フ段々ノ說明ガアリマシタ、委員ニ於キマシテモ詳ニ政府ノ反對スル所ノ理由モ承リ、委員中ニ於キマシテモ段々討議ヲ致シマシテアリマスガ、是ハ矢張リ政府原案ノ如ク十六匁ニ戻スノガ相當デアラウト云フコトニ相成リマシタノデ、委員ニ於キマシテ修正ヲ加ヘマシタノハ卽チ政府原案ニ復活ヲ致スト云フ結果ニ相成リマシタノデゴザイマス、之ヲ歐米各國ノ例ニ比較致シマシテ見マシテモ斯ノ如キ印刷物卽チ新聞雜誌ノ如キモノ、其單位ヲ比較シマシテ見マスルト稍ゝ十三匁ト云フ位ノ所ガ單位ニナッテ居ル、而シテ其料金ハ原案ニ在リマス所ノ五厘一錢抔カラ見マスルトズット高ク相成リ居リマスル、サウシマスルト原案ノ通リニ致シマシテモ卽チ現今行レテ居リマスル通リニ致シマシテモ新聞竝ニ雜誌ノ重量ハ十分緩ニ見テアル、サウシテ料金ハ比較的餘程安クナッテ居リマス、今日ノ所ニ於キマシテモ歐米諸國ノ例ヲ比較ヲ致シタ所デ餘程是ハ料金ガ低クナッテ居ルノデ、此上又六十匁ヲ二十五匁マデニ致スト云フ必要ハナイダラウト云フ考デアリマス、政府ガ此事ニ附イテ段々反對ヲ述ベラレマシタル重モナル所ハ委細ノ所ハ政府委員ノ方カラ御聽取ヲ願ヒマスノデアリマスガ、併シ大略ヲ申上ゲテ見マスルト現今ノ儘デ置キマシテモ新聞雜誌ニ對スル所ノ遞信省ノ收支ヲ比較シテ見マスルト一年ニ十八萬圓程ノ不足ガ立ッテ居リマスノデアリマス、現今ノ儘デスラ十八萬圓程ノ不足ガ立ツノデ、此十六匁ヲ二十五匁マデニ値下ゲヲスルト云フコトニナリマスルト又此上ニ大イニ不足ガ立ツ、其不足ハドノ位ニナルカト云フコトヲ尋ネテ見マスルト、是ハ政府ノ見込デハアリマスルガ豫算ニ依リマスルト稍ゝ此上ニ五十萬圓ノ不足ガ出ルト云フノデアリマス、サウスルト現今ノ所デ十八萬圓程ノ不足ガ立ツ上ニ十六匁ヲ二十五匁ニ致シタトキニハ又此上ニ收入上ニ五十萬圓ノ不足ヲ生ズル、減額ヲ生ズルト云フノデアリマス、斯ノ如キ結果ニ相成リマスルノデアリマスカラ委員會ニ於キマシテハ全會一致ヲ以テ政府案ニ復活ヲ致シマスルコトニ相成リマシタノデアリマス、又モウ一ッ添ヘテ申上ゲテ置キマスガ新聞雜誌中ニ今日ニ行レテ居リマス所ノ重量ヲ見マスルト十六匁ト云フコトニ極メテ置キマシテモ一般ニ對シテ不便ヲ感ゼシムル程ノコトハナイノデアリマス、或ル一二ノ新聞等ニ於キマシテハ稍ゝ不便ヲ感ズル所ガアルガ如クニモ聞キマスルガ、一般カラ見マスルト十六匁デ差支ガナイト云フ見込デアリマス、上來述ベマシタ如キノ理由デアリマスカラシテ此政府案ニ復活ト云フ委員ノ修正ハドウカ滿場一致ヲ以テ御同意ヲ願ヒタイモノト考ヘマス、次ニ鐵道船舶郵便法案、是ハ衆議院ノ修正ハゴザイマセヌノデ、委員會ニ於キマシテ十九條ニ修正ヲ加ヘマシタノデアリマス、十九條ノ修正ハ曩ニ申シマシタル通リノ電信法案ノ四十二條ノ修正ト同ジ精神デアルノデ、矢張リ法人ニ對シテノ制裁デアリマス、是モ修正文中ニ少シク變リマシタル所ガアリマスルガ、大意ニ於テハ電信法案ノ四十二條ノ修正ト同ジコトデアリマスカラ別ニ朗讀ハ致シマセヌ、十九條ノ修正ノ外ニハ何モ異議ガゴザイマセナカッタノデアリマス、是ニテ郵便爲替法案其他三案ノ審査ノ結果ハ御報告ヲ終リマシタコトデアリマス、ドウカ委員會ノ決議ノ通リニ可決アラムコトヲ希望シマス

○田中芳男君　チヨット委員長ニ伺ヒタウゴザイマス、唯今郵便法案ノ御修正ニ附キマシテ委シク御報告ガアリマシテ了解致シマシタガ……

○議長（公爵近衞篤麿君）　田中君ニ御尋シマスルガ、郵便法案ノ中ノ質問デスカ

○田中芳男君　ハイ、唯今此四ツノ案ヲ一緒ニ御報告ニナッタヤウデアリマスガ……

○議長（公爵近衞篤麿君）　報告ハ便宜ノ爲ニ四ツ束ネテヤリマシタガ、各案ニ附イテノ質問ハ餘リ頻繁ニナリマスルト混雜スルト思ヒマスカラ、郵便法案ニ附イテノ質問ナラ其案ニ移リマシタトキニ願ヒタウゴザイマス

○子爵錦織敎久君　マダ退場シテハイケマセヌカ、委員會ニ……

○議長（公爵近衞篤麿君）　宜シウゴザイマス

○子爵錦織敎久君　ソレデハ裁判所及臺灣總督府法院共助法案ノ委員諸君ハ

御退キヲ願ヒマス

○子爵平松時厚君　大分出席者モ見エタヤウデアリマスガ、私モ決算委員會ヲ開キタウゴザイマスガ……

○議長（公爵近衛篤麿君）　決算委員會ハ何デスカ

○子爵平松時厚君　總會デゴザイマス

○議長（公爵近衛篤麿君）　ソレハ少シ定數ニ缺ケルヤウデアリマス、郵便爲替法案、二讀會ニ移ルベキヤ否ヤノ決ヲ採リマス、二讀會ニ移スト云フコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○子爵堤功長君　直チニ二讀會ヲ御開キヲ願ヒマス

○子爵小笠原壽長君　贊成

〔其他「贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵近衛篤麿君）　直チニ二讀會ヲ開クト云フコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵近衛篤麿君）　ソレデハ二讀會ニ移リマス、本案全部ヲ問題ニ供シマス……御異議ガナクバ原案ニ決シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵近衛篤麿君）　ソレデハ是デ二讀會ハ了リマシタ

○伯爵大原重朝君　直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ……

〔「贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵近衛篤麿君）　直チニ第三讀會ヲ開クト云フコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵近衛篤麿君）　ソレデハ二讀會ニ移リマス……御異議ガナクバ原案ニ決シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵近衛篤麿君）　次ハ電信法案

○子爵小笠原壽長君　電信法案ニ附キマシテチヨット政府委員ニ伺ヒタウゴザイマス

○議長（公爵近衛篤麿君）　宜シウゴザイマス

○子爵小笠原壽長君　此電信法案ノ二十八條デゴザイマスガ、「公衆電信ノ用ニ供セサル私設ノ電信若ハ電話ヲ他人ノ用ニ供シタル者又ハ其私設者ニアラスシテ之ヲ使用シタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス」ト云フコトガアリマスガ、此公衆通信ノ用ニ供セザル私設ノ電信若ハ電話ト云フモノハ第二條ノ第一項ニ在リマス「一邸宅内若ハ一構内ニ於テ專用ニ供スル爲施設スルモノ」トゴザイマス其第二條ノ第一項ヲ指シマシタモノデアリマスカ、又ハ普通ノ銘銘ガ官ニ願ッテ居リマシテ銘々ノ宅ニ引イテ居リマスル電話ヲ指シマシタモノデアリマスカ、其區別ヲチヨット伺ヒタウゴザイマス

〔政府委員久米金彌君演壇ニ登ル〕

○政府委員（久米金彌君）　御答致シマスルガ、其前ニチヨット御注意マデニ申上ゲテ置キタイノハ第二十八條ハ衆議院ニ於キマシテ修正ガ加ッテ居リマス、「第三條第一項ニ依ル場合ヲ除クノ外」ト云フコトニナッテ居リマスカラ、チヨット御注意マデニ申シテ置キマス、唯今ノ御尋デゴザイマスガ、玆ニゴザイマスル私設電信電話トアリマスルノハ總テ此二條ニ依ッテ作リマシタモノ總テデゴザイマス、第一項バカリデハゴザイマセヌ、詰リ此私設ノ電信ト云フモノハ二條ニゴザイマスル第一カラ第五マデノ總テノ分デ、一營業上ノ爲ニスルモノ、卽チ鐵道ナリ或ハ電氣事業デゴザイマスルトカ、詰リ電信電話ヲ私設專用スル分デゴザイマス、其專用者以外ノ者ニ使ハセタリ或ハ使ッタリスル場合ニ對スル罰則デゴザイマス、御分リ下サイマシタカ

○子爵小笠原壽長君　チヨット御尋致シマスガ、ザウシマスルト銘々官廳ヘ願ッテ銘々ノ家ニ引イテ居リマスモノヲ人ニ貸スコトハ差支アリマセヌカ

○政府委員（久米金彌君）　左樣デゴザイマス、ソレハ差支ノ有ル無イハ別ノ御話デゴザイマシテ、此二十八條ニゴザイマスノハ飽クマデ私設ノ電信電話デゴザイマス、ソレカラ電信交換ヲ開イテ居ル譬ヘバ東京ノ如キ電話交換所ガ出來テ居リマスカラ、其所ヘ加入シテ居ル人ガ其自分ノモノヲチヨット人ニ貸スト云フコトハ唯今ノ所デハ差支ナイコトニナッテ居リマス、今後モ差支ナイト云フ見込デゴザイマス、但シ其公衆通信ノ用ニ供シテアル電信電話ノ加入者ガ人ニ貸ス場合ニ報酬ヲ取ッテハイケナイト云フコトガ電話交換規則ニ在ルノデゴザイマス、其方ハ此二十八條以外ノ取締ノ方法ニナッテ居リマス

○子爵小笠原壽長君　分リマシタ

○議長（公爵近衛篤麿君）　他ニ御質問ガナクバ採決シマス、本案ヲ第二讀會ニ移スベシトシテ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵近衛篤麿君）　然ラバ其通リ決シマス

○伯爵大原重朝君　直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ……

○子爵岡部長職君　贊成

〔此他「贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵近衛篤麿君）　直チニ第二讀會ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵近衛篤麿君）　ソレデハ直チニ第二讀會ニ移リマス、第一條ヨリ第四十一條マデヲ問題ニ供シマス……御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵近衛篤麿君）　ソレデハ原案ニ決シマス、第四十二條

第四十二條　前數條ノ罰則ハ法人ニ在リテハ其ノ業務ヲ執行スル社員、取締役又ハ理事ニ之ヲ適用ス

（特別委員修正案）

第四十二條　法人ノ業務ニ關シ其ノ代表者又ハ雇人其ノ他ノ從業者前數條ノ罪ヲ犯シタルトキハ其ノ罪則ヲ法人ニ適用ス但シ罰金科料以外ノ刑ニ處スヘキ場合ニ於テハ法人ヲ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

法人ヲ處罰スヘキ場合ニ於テハ法人ノ代表者ヲ以テ被告人トス

法人ヲ處罰スルノ裁判確定シタル日ヨリ罰金ニ關シテハ一月以內科料ニ關シテハ十日以內ニ之ヲ納完セサルトキハ民事訴訟法第六編ノ規定ニ從ヒテ其ノ執行ヲ爲ス此ノ場合ニ於テハ檢事ノ命令ヲ以テ執行力ヲ有スル債務名義ト同一ノ效力アルモノトス

前項ニ依リ執行ヲ爲スニハ執行前裁判ノ送達ヲ爲スコトヲ要セス

○議長（公爵近衛篤麿君）　是ハ委員會ノ修正ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵近衛篤麿君）　ソレデハ委員會ノ修正ニ決シマス、第四十三條ヨリ末條マデ……御異議ガナケレバ原案ニ決シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵近衛篤麿君）　是デ第二讀會ハ終リマシタ

○子爵堤功長君　直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

〔「贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵近衛篤麿君）　直チニ第三讀會ヲ開クニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵近衛篤麿君）　然ラバ直チニ第三讀會ヲ關キマス……御異議ガナクバ原案ニ決シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵近衛篤麿君）　郵便法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續

○田中芳男君　先刻……郵便法案ニ附イテ委員長ニ御尋シマセウト思ヒマシタガ、都合ニ依ッテハ政府委員デモ宜シウゴザイマスガ、衆議院カラシテ「二十五圓」ト修正シテ來テアリマスガ、是ニハ餘程理由ガアルコトデアラウト考ヘマスガ、ソレヲ原案ノ通リニ復シテ「十六圓」ト爲リマシタ、十六圓デ差支ナイト云フ御報告デゴザイマシタガ、十七圓ト云フヤウナモノハ十六圓ニ切下ゲルカラ差支ナイト……若シ其上ノモノガアレバ十六圓デ……政府ニ於テハ十六圓デ差支ナイト云フ御見込ト考ヘマス、ソレ故ニ……二十五圓ニシタノカト思ヒマスガ、併シ先刻御報告ノ通リ斯ノ如クニ致シマシタトキニハ非常ニ損失ガ立チマスカラ政府ノ元ノ案ノ通リニセヌケレバナラヌト云フノデゴザイマシタガ衆議院デ修正ヲ致シマシタノハ全ク……二十五圓デアリマスカラ衆議院デハ全力ヲ注イデ二十五圓ニシタト考ヘマスガ、果シテソレ程全力ヲ注イデ二十五圓ニシタト云フモノヲ又政府案ノ如ク修正シテ衆議院ヘ回シタ所デ衆議院ガ承諾スレバ宜シウゴザイマスガ、若シ承諾シソコナッタラ本年ハ此案ガ否決ニナッテ仕舞フダラウト心配ヲ致シマスガ、大丈夫衆議院デハ左樣ナコトハナイ貴族院ニ同意スルト云フ御見込デゴザイマセウカ、若シ衆議院デ同意セヌナラ否決ヲシテモ宜イト云フ御見込デアリマスカ、ソレヲ伺ヒマス

○子爵岡部長職君　唯今田中君ノ御質問ハ委員長カラ御答致ス限リノコトデハアルマイト思ヒマス、本院ハ本院ノ見ル所ヲ以テ此案ニ附イテノ意見ヲ發表スレバ宜シイノデ、其後トノコトハ强チ考ヘル必要ハアルマイト思ヒマス

○子爵長岡護美君　本員モ委員長ニ質問致シマスガ、田中君ノ御問ニナリマシタ此衆議院デ二十五圴ニシタノヲ又委員會デ政府ノ案ノ十六圴ニサレタノデアリマスガ、此計算ハ收入ガ減ズルト云フ所カラデアルト云フノデゴザイマスカ、チヨットソレヲ伺ヒマス

○子爵岡部長職君　長岡子爵ニ御答致シマスガ、先刻演壇ニ於テ述ベマシタ通リニ一ハ收入ヲ大イニ減ズルト云フコトデモアルシ、一ハ十六圴ノ儘ニ致シテ置イタ所ガ一般ノ新聞等ニ附キマシテハ不便ヲ感ゼシムル所ハナイト云フ見込デアル、或ル一二ノ新聞抔ハ十六圴以上ノ範圍ヲ極メテ貰ッタ方ガ都合ガ宜イト云フコトガアルガ知レマセヌガ、一般ノ新聞ノ重量ヲ調ベテ見マスルト大抵十六圴カラ見ルト遙カ下ニ在ルノデゴザイマス、ソレデスカラ今平均ノ重量ヨリハ餘程多イ、十六圴ヲ以テ唯今ハ致シテ居ルノデアリマスルカラシテ、一般ヲ通ジテ考ヘテ見マスルト餘リ不便ヲ感ゼシメル所ハナイト云フ見込デゴザイマス

○子爵長岡護美君　今私ハ丁度委員長ガ演壇ニ登ラレマシタトキニ闕席シテ居リマシタカラ御尋ヲシテ置キマスガ、此計算ガ一ッ明デナイト新聞抔ノ如キモノハ卽チ今文明ノ社會ニ進ムニ附イテハ最モ肝要ナモノデアリマスカラ、成ルダケ其至當ナ所ニ極メテ置カナケレバナラヌト云フ考デアルノデアリマスガ、ドウモ十八條ハ私ノ仄ニ承ッテ居ル所デ政府委員ノ方デハ大變之ヲ多クスル見込ノヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、ト云フモノハ此凡テノ新聞ガ皆二十五圴ト云フモノニナッテ來レバソレハ高クモナルノデアリマスケレドモ、併ナガラ今紙數ガ六頁アルモノガソレガ例ヘバ二十五圴マデト云フコトニナッタト云ッテ十頁トカ十六頁トカニスルコトハ私ハ決シテナイト考ヘルノデアリマスカラ、私ノ考デハドウモ衆議院ノ修正ノ儘デ宜カラウト考ヘマス、其十八條ニ附イテ非常ニ收入ヲ減ズルト云フ御考ハ却ッテ實際ニハ當ラヌカモ知レヌト思ヒマスガ、其邊ハドウ云フモノデアリマセウカ、御計算上ニ附イテハ十分ニ御調ガ附イテ居ルノデアリマスカ、一應ソレヲ伺ヒマス

○子爵岡部長職君　十六圴ヲ二十五圴ニ改正ヲ致シタナラバ政府ノ調ニ依リマスルト五十萬圓ノ收入ガ減少ニナル見込ト承ッテ居リマス、ソレニ附イテハ政府委員カラシテ示サレタル所ノ說明書抔ガアリマス、本員等ニ於キマシテモ果シテ五十圓ノ減少ガ立ツヤ否ヤト云フコトハ一ノ問題デアラウト思フ、併ナガラソレヲ半分ニ致シタ所ガ二十五萬圓程ノ損ガ立ツ、又ソレヲ半分ニ致シタ所ガ十二萬以上ノ損ガ立ツト云フコトニナリマス、五十萬圓ト云フ損ノ見込ト云フモノハ或ハ稍〻過大ノ豫算デハアルマイカト云フ考ヲ持ッテ居リマスガ、假令ソレヲ半分ニ致シテモ二分ノ一ニ致シテモ大分損ニナリマス、而シテ一方ヲ考ヘテ見ルト十六圴ヲ二十五圴ニ上ゲテヤラネバ大ニ新聞雜誌社會ニ迷惑ヲ感ゼシムルト云フ程ノコトモ認メテナイノデアリマス、彼我ヲ比較シテ彼是ヲ比較シテ矢張リ政府原案ノ儘デ宜カラウト決シマシタノデアリマス

○子爵谷干城君　私ハ一ッ政府委員ニ質問ガシタイト思ヒマスガ、今委員長カラシテ御報告ニナッタヤウニ、此儘ニシタ所デ既ニ一箇年ニ十八萬圓ノ不足ヲ生ズル、若シ之ヲ衆議院ノ修正ノ如クスルナラバ五十萬圓ト云フ損ニナル、斯ウ云フコトデアリマスガ、十八萬圓ト云ヒ五十萬圓ト云フ其割出ノ所ハドウ云フ何カラ割出シテアルカ、十八萬圓ト云フモノハ新聞雜誌ノ紙數ガ幾ッ……種類ガ幾ッ、目方ガ幾ラ、ソレカラシテ五十萬圓ノ方ハ矢張リ此十八萬圓ノ數ヲ基礎トシテ置イテ、サウシテ五十萬圓損ニナルト云フコトヲ御割出ニナッタカ、其算用ノ目途ヲ承リタイ、サウセヌト贊否ヲ表スルコトガ出來ナイ

〔政府委員久米金彌君演壇ニ登ル〕

○政府委員（久米金彌君）　御答ヲ致シマス、先刻委員長ガ現行ノ郵便條例ノ元ト卽チ十六圴毎ニ五厘ト云フノデスラモ國庫ガ十八萬餘リノ損ヲスルト云フ其御話ハ詰リ其新聞雜誌ヲ遞送シマスルニ附キマシテ國庫ガ得マスル收入ト其新聞雜誌ヲバ遞送シマスル費用ヲ比較致シマシテノ御話デゴザイマス、デ御承知ノ通リ新聞ニハ十六圴ヨリ超エルモノモアリマスル、雜誌ニモ尙更アリマスガ、唯今ノ所デ申シマスルト、此新聞雜誌ガ一箇毎ニドレ程ノ料金ヲ拂フコトニナルカト云フコトヲ平均シテ見マスルト、一箇ニ附キマシテ五厘八毛八ト云フコトニナリマス、是ガ平均ノ御話デス、尙ホソレヲ運ブニ附キマシテデス、遞送費ガナンボ掛ルカト申シマスルト、一箇ニ付キマシテ七厘七四ト云フコトニナリマス、ソレ故平均ノ上デ申シマシテモガ、新聞雜誌類ノ束ニナリマシタモノヲ送ルニ附キマシテ一箇ニ附イテ一厘八毛六ト云フヤウニナル……

○子爵谷干城君　ソレヲ御尋スルノデハナイ、私ノ御尋シタノハ今私ガ一ッ案ジテ居ルコトヲ申シタラ御分リニナラウガ、サウ云フ譯ニナルト今私ノ考デハ新聞雜誌ト云フヤウナ類ハ誠ニ田舍ヘ行カナイ、實ニ不繁昌デアル、ソレガ爲ニ此田舍ノ知識ト云フモノハ次第ニ退歩スルト云ウテモ宜イ、一時流

行ッタ時ニハ隨分來ヨッタ新聞モ次第ニ今日ハ田舍ヘ來ナイ、是ハ要スルニ田舍ノ衰微カラ起ルコトデ、俄ニ挽回スルコトハ行カヌカ知レマセヌケレドモ、何レ此人ノ耳目ヲ開クニハ新聞及新聞雜誌ノ如キモノガ最モ必要デアル、殊ニ此谷等ノ如キ者ハ新聞及新聞雜誌ノ力ニ依ッテ大變得ヲシテ居ル、私抔ハ現ニ近年ハ多分ハ田舍ニ住居ヲシテ經驗シテ居ルガ、ドウモ此新聞ノ延著ヲシタリ或ハ雜誌ノ來ナカッタリスル……此次ハ斯ウ云フガ來ルダラウト思フモノガ一向來ザッタリ大變不便ヲ感ズル、斯ウ云フヤウニスルト自然禁止稅ノヤウニナッテ減リハセヌカ、是ガ勝手ニ餘計來ルヤウニナッタラバ新聞ガ繁昌シテ餘計出ルヤウニナッタラバ收入ガ多クナッテ損ヲセヌヤウニナリハセヌカ、之ヲ政府ノ原案通リニスレバ數ガ減リハセヌカ、衆議院ノ修正通リニシタナラバ大ニ販路モ擴ッテ新聞ガ繁昌ヲシハセヌカト、田舍ガ發達シハセヌカト云フ疑ヲ一ッ持ッテ居ルカラ、ソコデ此十八萬圓不足トカ五十萬圓不足トカ云フ其割出ノ元ヲ數ニ依ッテ御調ニナッテ居ラウト思フガ、此位發達シテ、ソレカラシテ十八萬ナンボ不足ニナルハ凡ソ數ガドノ位、五十萬圓損ニナルト云フノハドウ云フヤウナ基礎デ御割出ニナッテサウ損ニナルカト云フコトヲ聞カヌト分ラヌ、其一厘トカ五厘トカ云フ手續上ノ文ヘルコトヲ仰ッシャッテハ私ガ御尋申ス所ト大變違フ

○政府委員（久米金彌君）　能ク分リマシタ、其方ノ御答ヲシッヽアル積リデ居ッタノデゴザイマス、ソレデ前御話ヲスルヤウニデス、一箇ニ附キマシテデス、既ニ此一厘八毛六ト云フモノヲ損ヲシッヽアルノデス、然ルニ唯今デス、現ニ此郵便ニ依ッテデス、新聞ヤ雜誌ヲ送リマスル其實數ハデス、九千萬餘リアルノデス、假ニ之ヲ一億近イモノト見マスルト一箇ニ附イテ一厘八毛六デゴザリマスカラ、之ヲ一億トスルト十八萬六千圓バカリ損ニナルト云フ斯ウ云フ計算ニナルノデス、ソレデ之ヲシカモ十八萬六千圓ト云フノハシカモ遞送費ダケナノデゴザリマス、デ他ニ新聞雜誌ヲ郵便ニ送ル、郵便デ送ルニ附キマシテハ色々ノ費用モ掛ルノデゴザリマスガ、其費用ハ暫ク別ニシテ單ニ遞送費ノミデソレダケ損ヲスルト云フノデス、遞信事業費全體カラ申シマスルト……ソレ故ニ此損失ト云フモノガ尙ホ多クナルト云フ計算ニナルノデアリマス、ソレデ唯今申スヤウナ譯デ既ニ此現行ノ十六匁毎ニ五厘ト云フコトデアッテスラデス、十八萬圓餘リ損ニナルデスカラ、物ガ殖エレバ殖エルニ從ッテ損ニナルデス、ソレ故ニ物ガ殖エレバ殖エル程損ニナル、反對ニ物ガ殖エテ行ケバ殖エテ行ク程物ガ損ニナルト云フコトニナルデス、ソレデ其次ノ若シ是ガ二十五匁毎ニ五厘ト云フコトニナッタナラバ殆ド五十萬近クノ損ニナル、其損ノ計算ハドウ云フ風ニナッタカト云フ御尋デ御答ヲ致シマスガ、其損ハデス、第一ハデス、今マデ二十五匁デアッタモノハ一錢デ行キ居ッタ、ソレガ五厘ニナリマスレバ其物ニ附イテ五厘ヅヽ損ヲシテ行キマス、ソレガ目方ガ高クナルト、ナルニ從ッテ損ヲスルヤウニナリマスカラ、其點ニ附イテ損ガ行キマス、ソレデ現行ノモノト比較ヲシテ見マスルト、例ヘバ五十匁マデガデス、今度ノ法案デ見マスルト一錢デ宜イ譯デス、二十五匁毎ニ五厘デス、然ルニ現行ノハ十六匁毎ニ五厘デスカラ、五十匁アルトスルト二錢貼ラネバナラヌ、ソレガ今度ノ衆議院ノ修正通リニナルト一錢デ宜イカラ詰リ半減スルノデス、色々匁毎ニ依ッテ違ヒマスルガ、マア例ヘバ五十匁ノヤツハ今御話シタ通リ、ソレカラチヨット所々申シテ見マセウナラバ百五十匁ノヤツデ申スト現行ノ料金デアルト五錢貼ラネバナラヌノデアリマスル、ソレヲ改正ノ料金ニナリマスルト三錢貼ラネバナラヌ、詰リ二錢ノ損ヲスル、目方ガ多クナレバナル程此料金ガ安クナルカラ損ガ餘計立ッヤウニナリマスル、デ詰リソレ故ニ料金其物ノ上ニ於テ此度ノヤウナ修正ニナリマスルト、勢ヒ收入ガ減ッテ參ルト云フコトハ第一ノ原因、ソレカラ今一ッ此收入ノ上ニ損ノ參リマスルノハ唯今ノ所デ全國デ出マスル新聞雜誌ノ數ガ四億餘リアリマスル、然ルニ郵便ニ依ッテ居リマスモノガ前申シマシタ通リ一億足ラズノモノデアリマスルガ、他ノモノハドウ云フ遞送ノ方法ヲ致シテ居リマスルカト云フト、或ハ直キニ配達人ニ配ラセルトカ、或ハ汽車ノ便ニ依レル所ハ汽車便ニ依ルトカ云フヤウナコトデ、畢竟ナゼサウ云フヤウナコトヲ致スカト云フト郵便デ送ルト場合ニ依ルト遲レルト云フコトモアリ、詰リ料金ノ上カラ來ルト云フハ例ヘバ二十匁アル雜誌デ見マスルト、ソレヲ郵便ニ出シマスル場合ニハ一錢貼ラネバナラヌノガ、使ヲ賴メバ八厘デ濟ムトカ七厘デ濟ムトカ、結局安イカラシテ郵便ニ賴マズニデスナ、此外ノ方法デ以テ遞送ヲ致シテ居ル、然ルニ此度ノヤウニ衆議院ノ修正ノヤウニナリマシテ、二十五匁マデガ矢張リ五厘デ行クト云フコトニナルト、從前郵便以外デ配達シテ居ッタモノガ郵便ニ這入ッテ來ルト云フヤウニナリマスカラ、其方デ以テ郵便ニ這入ッテ來ル分ガ殖エテ來ル、從ニマシテ前御話申シタヤウニ遞送費ガ損失ニナッテ來ルト云フコトガ加ッテ來ル、ソレデ其ヤウニ致シテ此御承知ノ通リ三種郵便物ト云フモノハ三百匁マデハ三種郵便物ニナリ得ルノデゴザリマスカラ、此現ニ十六匁マデ或ハ十六匁カラ詰リ三百匁マデニ至リマスル所ノ郵便物數ヲ調ベマシテ、此調

ベタノガドウ云フ風ニシテ調ベタカト云フト、或ル時期ヲ取リマシテ其時期間ニ於ケル郵便物ト竝ニ其目方等ヲ計ッタノデゴザリマスルガ、ソレニ依リマシテ三十三年度ニ至リマスル所ノ此三種郵便物ノ數ガ是程ニナルダラウト云フ豫定數ヲ作リマシテ、其豫定數ニ依ッテ十六匁マデノ物ガ幾ラアラウト云フコトヲ推定ヲ致シテ、其推定ヲ致シタモノデ此度ノヤウニ致シマスルト、此三十二匁マデニナッテ居ッタモノガ或ル分ハ二十五匁以下ニ這入ラウト云フ割合ヲ付ケマシテ、サウシテ積算ヲ致シマシタノデアリマス、サウ致シテ郵便物ノ殖エマスルノハ今御話シタヤウニ郵便以外ノ方法ニ依ッテ居ッタモノガ郵便ノ方ヘ這入ッテ來ルト云フ物數ナリ、又物ガ安クナリマスルト其物數ガ殖エルダラウト云フコトヲ見マシテ、サウシテ量數目ト云フモノヲ出シタノデアリマス、デ郵便物ノ凡ソ其全體ノ其目方ト云フモノガ何ボウアル、其中新聞雜誌ニ屬スベキ所ノ目方ト云フモノガ何ボウアル、ソレデ郵便物ヲ運ブニシマシテ一貫目何ボウ掛ルト云フコトノ又平均ノ此手數料ト云フモノニ對シマシテ今後殖エテ來マス所ノ郵便ノ即チ第三種郵便物ノ目方ニソレヲ掛ケテ見マスルト、今御話シタヤウナ金ガ出テ參ルノデアリマス、詰リ五十萬圓近ク前御話シタヤウニ收入ニ對シテ直接ニ減リマスル分ト今一ツハ安イ方ノ郵便物ガ殖エテ參リマスル、目方ガ從ッテ殖エル其目方ニ對スル所ノ手數料ト云フモノニ對シテ、サウシテ算ヲ致シマシタノデアリマス、ソレガ合計致シマスルト四十九萬圓餘リ五十萬圓近クノ金ニナルノデアリマス

○田中芳男君　序ニ伺ヒタウゴザイマス、先刻特別委員長ニ伺ヒマシタガ答辯スルノ限リニ在ラズト云フノデ御話ガナカッタ、外ノ事ハ追ヶ御答辨ガアリマシテ唯今ノ不足金ノ立チマスルコトハ能ク分リマシタガ、衆議院ノ方デハドウ御相談ヲシマシタカ、ソレヲ御尋スルニハ及ビマセヌガ、之ヲ衆議院ニ回付シテヤリマシテ衆議院ガ同意スレバ宜シウゴザリマスガ同意シナイト或ハ不成立ニナリハシナイカト思ヒマス、衆議院ニ於テハ原案ニ復シテヤレバ原案ニ同意ヲシマセウカ、若モ同意ヲシナイニ於テハ案ガ通過シナクテモ宜シイノデスカト云フコトヲ伺フノデス

〔「無用無用」ト呼フ者アリ〕

○政府委員（久米金彌君）　此本案ノ通過ハ無論希望致シテ居リマス、併ナガラ此案ヲコチラデ政府案ノ通リ復活ナサイマシテ果シテ同意スルヤ否ヤト云フコトハ私ニハ實ハ何トモ申上ゲヤウモゴザリマセヌ

○子爵谷干城君　モウ一ッ御尋シテ置キタイデスガ、普通ノ新聞ハ今ノ御說明モアッタ通リ十六匁デ一向間ヘアルマイト思ヒマスガ、其中ニ其一二ノ新聞ハ十六匁デハ困ルデアラウガ、僅ニソレハ一二ニ止マル、雜誌ニ至ッテハ尙更サウ云フノガアルト斯ウ云フヤウナ御說ニナッタヤウデアルガ、私共ハ重モニ雜誌ノ方ニ最モ感ジガアルノデ、雜誌ハドレ程アリマスカ、日刊ノ新聞ハ固ヨリ數ガ少イガ、大凡政府ノ御調ニナリマシタ所デハ此雜誌ハ十六匁以上ガ多イデアリマスカ、ソレヲチヨット御調ニナッテ居ルヤウデアリマスカラ伺ヒタイ

○政府委員（久米金彌君）　御答致シマスルガ、何分ニモ此甲ノ雜誌ハ何匁始終アル、乙ノ雜誌ハ何匁始終アルト云フコトハドウモ其調ハ出來マセヌ、新聞ニ致シマシテモガ時ニ依ッテ十六匁以上ニナッタリ、ナラナカッタリ、同ジ新聞ニ致シマシテモガ始終十六匁以上ニ止ッテ居ルト云フコトハアリマセヌカラ調ハ附キマセヌ、雜誌ニ致シマシテモガ一々當ッテ其調ヲスルト云フコトハ到底出來マセヌガ、前御話ヲ致シマシタノハ十六匁以上ニナルノハ新聞ノ側ニ多イカ、雜誌ノ側ニ多イカト云フコトニナリマスト、新聞ヨリ寧ロ雜誌ノ方ガ多イト申シタノデアリマス、併ナガラ十六匁以上ニ渉ッタ物數ハ何ボアルカト申シマスレバ、ザットシタ調ガ此所ニゴザイマスカラ其御答ナラ出來マスケレドモ……

〔子爵谷干城君「ドウゾソレデ……」ト述フ〕

極ク粗イ御話ヲ致シマスカラ、サウ御聽取ヲ願ヒタウ存ジマス、此一號一箇ノ物デゴザイマスガ、十六匁マデノ分ハ八千九百萬バカリゴザイマシテ、サウ致シテ五百萬以上五百萬餘リハ十六匁以上ニナリマス、是ハ一號一箇ノモノデゴザイマス、ソレカラ二號又ハ二箇以上一束ネニ致シマシタ物モゴザリマス、其分デハ十六匁マデガ百二十萬バカリゴザイマシテ、ソレデ十六匁以上ガ其殆ド同數百二十萬餘ゴザイマス、デソレ故ニ合計ヲシテ戴カヌトナリマセヌガ、今ノ十六匁以上ニナリマスヤツガ五百萬バカリ、百萬以上差シマスカラ六百萬以上ト斯ウ御承知ヲ願ヒタウゴザイマス

○馬屋原彰君　本員モ政府委員ニ一ッ質問致シタウゴザイマス、此第三種ノ刊行物ト云フモノハ當局者ノ御調ニナッテ居ルモノデハ年々餘程增加シテ來ル景況デアラウト思ッテ居リマスガ、大概政府ノ方ニハ調ガ附イテ居リマスナラ伺ヒタイ、ソレカラ本員抔ハ實ハ考ヘルニハ此ノ三種ノ刊行物抔ハ成ルベク實ハ廉クシテ置ク方ガ詰リ此國家ノ益ダラウト思フ、是ハ餘程人民ノ知

識ノ上ナリ又教育上ノ上カラ裨益ヲ與ヘル所ノモノデアル、政府ノ（聽取シ難シ）此上ニ附イテ不足ガ立ッテモ是ハ融通ガ付クダラウト思ヒマス、成ルベク私抔ハ廉イ方ヲ希望スル、加フルニ年々增シテ行ケバ假令今日ノ計算ニ於テ不足ガアッテモ、增高ノ上ニ於テ融通ガ付クノデ、又其方デ一方ノ方デハ收入ガ增スト云フコトガ出テ來ヤウト思ヒマス、ソコデ今ノ刊行物ガ年々殖エル所ノ狀況ヲ伺ヒタイ

○政府委員（久米金彌吉）　御答致シマスルガ、第三種郵便物、此年々累進ノ仕方ハ無論調ベタモノハゴザイマスガ、唯今手許ニ持合ハセテ居リマセヌ、併ナガラ極ク其粗イ御話ヲ申上ゲマスルト無論一割以上年々殖エルト云フコトハ記憶致シテ居リマス、ソレデ御答ニ當テ置キタイト思ヒマス、ソレカラ今ノ物ガ殖エテ行クカラシテ繰合ガ附カウト云フノデゴザイマスガ、此三種郵便物ノミニ附キマシテハデスナ、前ニ御話ヲシタ通リ現ニ損ヲ致シテ居リマスノデゴザイマス、其損ヲ見込ミマシテ郵便全體ノ經理ヲ致シテ居ルノデゴザイマスカラ、夏シ殖エルコトハ……例ヘバ三十三年度ノ豫算ニモ見込ンデアリマシテ、殖エルコトハ總テ見込ミマシテ、ソレヲ經理ヲ立テテ居ルノデゴザイマスカラ其以上新規ニ餘計不足ガ立ツヤウナコトニナリマスカラ、郵便事業全體ノ經理ノ上ニ頗ル困難ヲ感ズルコトニナルノデゴザイマス

○小幡篤次郎君　チョット簡單ニ意見ヲ述ベタウゴザイマス

○議長（公爵近衛篤麿君）　意見デスカ

○小幡篤次郎君　意見ヲ述ベタウゴザイマス

○議長（公爵近衛篤麿君）　宜シウゴザイマス……ア、小幡君、チョット御待チ下サイ、此十八條マデノ所ヲ……一讀會ノ場合デアリマスカラ二讀會ニ移ッテ此條マデ行キマシテカラドウカ願ヒタイ、本案ヲ二讀會ニ移スベシト決シテ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵近衛篤麿君）　ソレデハ二讀會ニ移スベシト決シマス

〔子爵錦織敎久君、伯爵大原重朝君「直チニ二讀會ヲ開カレムコトヲ希望シマス」ト述フ〕

○議長（公爵近衛篤麿君）　別ニ御異議ガナクバ直チニ第二讀會ヲ開クコトニ致シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵近衛篤麿君）　第一條ヨリ第十七條マデ問題ニ供シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵近衛篤麿君）　御異議ガナクバ原案ニ決シマス、第十八條

（特別委員修正案ハ左傍ニ線ヲ施シタル文字ヲ右方ニ細書セル文字ニ改ムルニ在リ）

第十八條　通常郵便物ノ種類及料金ハ左ノ如シ

第一種　書狀	重量四匁又ハ其ノ端數毎ニ	金三錢
第二種　郵便葉書	(一)通常葉書	金一錢五厘
	(二)往復葉書	金三錢
	(三)封緘葉書	金三錢
第三種　每月一回以上刊行スル定期刊行物	(一)一號一箇重量二十六匁又ハ其ノ端數毎ニ二號又ハ二箇以上一束重量二十六匁又ハ其ノ箇數毎ニ	金五厘
	(二)	金一錢
第四種　書籍、印刷物、業務用書類、寫眞、書畫、圖、商品見本及雛形、博物學上ノ標本	重量三十匁又ハ其ノ端數毎ニ	金二錢
第五種　農產物種子	重量三十匁又ハ其ノ端數毎ニ	金一錢

前項各種ニ該當セサル物件及該當スルモ封緘シタルモノハ第一種郵便物ト同一ノ取扱ヲ爲ス

異種ノ郵便物ヲ合裝シタルモノハ其ノ種類中ノ最高料金ヲ納付スヘキ郵便物ト同一ノ取扱ヲ爲ス但シ第二種郵便物ヲ他種ノ郵便物ト合裝スルトキハ第一種郵便物ト同一ノ取扱ヲ爲ス

郵便葉書ノ表面又ハ第三種乃至第五種ノ郵便物ニ通信文ヲ記載シタルモノハ第一種郵便物ト同一ノ取扱ヲ爲ス

○子爵平松時厚君　マダイケマセヌカ

○議長（公爵近衛篤麿君）　何デスカ

○子爵平松時厚君　モウ委員會ノ方ハ宜シウゴザイマスカ

○議長（公爵近衛篤麿君）　宜シウゴザイマス、併シ決算委員ガ皆御退キニナリマシテハ少シ定數ニ闕ケマス

〔小幡篤次郎君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長（公爵近衛篤麿君）　宜シウゴザイマス

〔小幡篤次郎君演壇ニ登ル〕

○小幡篤次郎君　諸君、私ハ新聞ニ親友共ガ有リマスノデ少シ我田ヘ水ヲ引クカノ嫌モゴザイマスヤウデスガ、全ク唯親友ガ居リマスダケデ新聞ニ關係ノアリマス者デゴザイマセズ、併ナガラ新聞ノ今ノ政府委員ノ御調ハチト杜選デハナイカト存ジマスルノデ、ソレダケノコトヲ辯駁致シテ見タイト存ジマスノデゴザイマス、此新聞ニ附キマシテ十八萬ナニガシノ損失ガ遞送ノ上ニ立チマストカ云フヤウナコトデアリマシタガ、此新聞ハ諸君ノ御承知ノ通リニ文明ノ利器デ、如何ニモ人ノ知識ヲ開發致シマスル所ノ必要ノ道具デゴザイマスカラ、多少遞送ノ上ニ損ガ立チマセウト何デゴザイマセウトモ是ハ損得ノ計算ヲスベキモノデハナイト私ハ考ヘマスデゴザイマス、少々ノ損失ノアルコトハ一向苦シクナイコトト考ヘマスガ、此新聞ノ稅率ハ勅令ニ依リマシテ色ク定メガゴザイマシテ、成ル程政府委員ノ言ハレル通リ十三文位ノ所ガ多イヤウデゴザイマスガ、又英ミタヤウナ所ハ總テ一ペニー二總テノモガ極ッテ居ル所ガゴザイマスシ、種々ニナッテ居リマスカラ必ズ一率ヲ以テ之ヲ概スルコトハ出來ナイモノト考ヘマス、ソレデ又第一此新聞紙ノ稅ガ廉クナリマシタ所デ以テ新聞屋ガ利益ヲ收メルト云フモノデハゴザイマセヌ、是ハ能ク申上ゲテ置カナケレバナリマセヌガ、是ハ皆買ヒマス人ノ納メル所ノ稅デゴザイマシテ決シテ新聞屋ガソレ自ラ利益スルト云フソンナモノデハゴザイマセヌ、唯公衆ガソレダケ郵便稅ガ廉クテ新聞ガ十分ニ、中ニハ賣先ノ廣マルト云フコトガ新聞屋ノ利益ニナリマスカモ知レマセヌガ、公衆ノ利益ニナリマス仕事デゴザイマス、ソレデ政府ハ十六文ヲ二十五文ニスレバ凡ソ五十萬圓程收入ニ損ガ立ツト云フ計算デゴザイマスガ、此現在納ッテ居リマスモノカラ、今一錢貼ッテ居リマスモノガ五厘ト云フコトニナリマスト私共ノ調ベテ見マシタ所デ見マスルト凡ソ一萬五千圓餘リノモノガ政府ノ現在ノ收入カラ減ジマスコトニ存ジマス、是ダケハ確ニ損失ニナルニ相違ゴザイマセヌガ、併シ四十八萬圓ト云フモノハ、三十年來ノ新聞雜誌ノ目方八十二萬三千何貫目ト申スモノニ唯今ノ十六文ト二十五文ト申シマスモノノ差ノ九文ト云フモノヲ加ヘマシタ率ト考ヘマス、此九文ヲ以テ加ヘマスレバ凡ソサウ云フヤウナモノガ出マスコトト考ヘラレマスガ、併シ此新聞ハ先刻委員長ノ述ベラレマシタ通リニ唯今マデ十六文位デ大抵不都合ハナイヤウダト言ハレマシタガ、其通リデ決シテ十六文以上ニ上ッタモノハナイノデ、是ハ唯今政府委員ノ言ハレルヤウニ稅ガ縱令一錢ノモノガ五厘ニナリマシタ所デ以テ俄ニ小サイ新聞紙ガ大キクナルモノデモゴザイマセヌ、其稅ノ爲ニ紙數ヲ增スモノデゴザイマセズ、ソコラノコトハ依然タル十六文以下ニ居ルノデゴザイマシテ、何モ今日遞送費ニ拘ルコトハナイト存ジマス、其遞送費ガ變ラヌナラバ或ハ今マデ汽車便ニ賴ンデ積出シマシタモノヲ郵便ヲ貼ッテ出スモノガ幾ラカアリマセウデゴザイマスガ、是ハ併シ別ノ事情ガアリマシテ必ズサウハ參リマセヌト存ジマス、ト申シマスルモノハ近イ所デゴザイマスレバ人ヲ賴ミマシテ配達致シマシタ方ガ便利モ宜シウゴザイマスルシ、又經費モ少シデ濟ムダラウト思ヒマス、ソレカラ又遠イ所ニ遞送致シマスモノニ致シマシテ矢張リ是マデノ如ク汽車便ヲ借リマシタ方ガ遞送ニ非常ニ都合ガ宜イ所ガアリマスカラ、是ハ郵便ガ廉クナッタカラ郵便ヲ貼ッテ出スト云フモノデハゴザイマセヌ、又一方ノ方デハソレヲヤレバ一ツニ集メテ出スダラウト云フコトデゴザイマスガ、是亦決シテサウデナイ、一ツニ集メテ出セバ一ツ一ツノ數ハ幾ラカ成ル程減リマシテ、一ツニ固マリマシタモノノ稅ハ廉クナリマスヤウニ存ジマスガ、ソレニハ又日限ト云フモノガゴザイマシテ、サウ一ツニ集メテ送ルト云フコトハ出來ナイノデ、是ハ自ラ其日ノ配達ノ都合、遞送ノ制限ガアリマシテ、他ノ事情ノ爲ニ制セラレテ政府ノ御計算通リニハ參リマスマイト思ヒマス、斯ル文明ノ道具ハ成ルベク稅ヲ輕減シテ人ノ知識ヲ開發致シマスコトノ助ヲ爲スコトハ國家ノ務ト存ジマスノデ、私抔ノ調ベマシタ所デハ斯クナリマシタナラバ凡ソ計算上二萬圓位ノモノノ計算上ノ相違デゴザイマスレバ此衆議院ノ修正通リニ致シマシタ方ガ甚ダ事穩デ公衆モ便利ヲ得マスコトト考ヘマスカラ是ダケノコトヲ辯ジマス

○子爵谷干城君　是デ意見ヲ述ベマシテ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵近衛篤麿君)　長ウゴザイマスカ

○子爵谷干城君　別ニ長ウハゴザイマセヌ、登ル程ノコトハナイ

○議長(公爵近衛篤麿君)　宜シウゴザイマス

○子爵谷干城君　餘程是ハ衆議院ノ修正ト政府ノ主意ハ違フ、ト云フモノハ一ハ收入ノ目的卽チ利益ノ目的、一ハ公益ヲ目的トスル、此二ツノ衝突ト思ハレル、私抔ハ近來ハ御承知ハナイカ知レマセヌガ田舍ニ住ッテ居リマスガ、此知識ハ何ニ依ッテ得ルカト云フト卽チ重モニ此新聞及新聞雜誌ニ依ッテ知識ヲ得ルノデ、是程田舍ニ居ッテ樂ミヲ得ルコトハナイ、又學問ニナルコトハナイ、ソレデ田舍ノ樣子ヲ見マスルト、ドウナッテ居ルカト云フト、是ハ東京ノ御方ヲ抔ハ御氣ノ付カヌコトト存ジマスガ、都會ノ新聞ハ五人デ一枚或ハ

八人デ一枚ト合セテソレデ甲乙ト送リ合ッテ見テ居ル、畢竟是ハドウモ新聞ガ讀ミタイケレドモ一人デ一枚ヲ取ルコトハ出來ナイカラ據ナク合同シテ居ルコトヲ目擊シテ居ル、ソレデ今日ノ有樣ヲ見マスルト知識モ又金力モ皆此都會ニ集ッテ仕舞ウテ居ル勢デアリマス、ソレデ都會ハ日々ニ金力上ニ於テモ足リ知識ノ上ニ於テモ最モ足リルヤウニ私抔ハ感ジルノデアル、私共ノ考ハ卽チ衆議院ノ公益ノ目的ノ主義ト同感デ、是等ノ此新聞及雜誌抔ト云フモノハ人間教育上ニ最モ必要ナモノデアルカラシテハ、ドウカ政府ガ多少ノ損ヲスル位ノコトハ是ハ忍ヘテヤッテ貰ヒタイト思フ、サウナイト次第ニ新聞及新聞雜誌ノ田舍ニ行クモノガ減ルヤウニナル、ソレデ成ル程五十萬モ損ニナルト云フト如何ニモ驚クヤウデアリマスルケレドモ、是ハ色ク先キノコトヲ想像サレテ五十萬ト積ッタモノデ、一向確タル目安ハ立ッテ居ラヌト思ハレル、又今小幡君ノ言ハレル所ニ據レバ僅ニ二萬圓餘リデ行カウト云フコトデアレバ最モ妙デアル、是ハ衆議院案ニ皆サン御贊成アラムコトヲ希望スル、決シテ是等ノコトハ收入ヲ目的トシテヤルベキコトデハナイ、殆ド是ハ社會ヲ敎育スルノ器械ト見テ宜シイト思フカラ、ドウゾ衆議院案ニ御贊成アラムコトヲ希望致シマス

〔政府委員古市公威君演壇ニ登ル〕

○政府委員（古市公威君）　小幡君カラ政府ノ調ハドウモ疎漏ナヤウダト云フ御論デ、此委員ノ修正案ニ御反對ニナリマシタガ、成ル程見込ニハ違ヒナイデス、ケレドモ如何ニ見込デモ小幡君ノ言ハレル如ク損失ガ二萬圓デ濟マウトハ、ドウシテモ思ハレナイ、谷子爵モドウモ政府ノ勘定ノ仕方ガ確トシタ據ロガナイヤウダト云フ今御言葉ヲ承リマシタガ、固ヨリ一々目方ニ掛ケテ勘定ヲシタ譯デハナイノデアリマスルガ、據ロハチャントアル、先刻久米政府委員モ申述ベラレマシタ通リニ或ル時期間ニ新聞雜誌……第三種郵便物ノ目方ヲ量リマシテ、ソレハ等級毎、卽チ十六匁マデ又十六匁以上三十二匁マデ、其以上四十八匁マデト云フヤウニ分ケマシテ、サウシテ之ヲ年額ニ按分比例ヲ立テテ見タノデス、ソレデマダソレバカリデハ計算ハ確實デナイニ附イテ凡ソ今日マデハ三十二匁以內卽チ一錢ト云フ印紙ヲ貼ッテ居ッタモノガ何分程、其中ノ何分ガ十六匁以上二十五匁以內、二十匁以上三十五匁以內ト分レルト云フ推測ヲセネバナラヌ、是モ凡ソ推測ヲ立テテ見タ、ソレカラ此目方ガ殖エマスレバ自ラ部數ガ增ス、此推測モ立テテ見テ、而シテ收入ガナンボ支出ガナンボト勘定ヲ立ッテ、此點ニ附イテ收入ノ方ヲ勘定ヲスルト、成ル程今小幡君ノ言ハレル通リ一萬ナンボ位ノ金ガ政府ノ調デモ出テ來ル、收入ノ減ル方カラ言ヘバ……併シ支出ノ方デス、遞送費ノ方デス、遞送費ノ方ガ小幡君ノ御勘定デハ丸デ抜ケテ居ル、唯今小幡君ハ二萬ナンボニ當ッテ居ルト言ハレタ、遞送費ハドダイ勘定ヲシテナクテ漸クアノ位ニナル、遞送費ノ損ガ別ニアル、此遞送費ノ據ル所モ今ノ目方ヨリ出テ來ルノデアリマスルカラ、此勘定以外ニ何カ精確ナ勘定ガアッテ、ソレデ政府ノ調方ガドウモ當ッテ居ラヌト云フ御論ナラバ、ソレハ致方ガナイデス、ケレドモ外ニ據ロハナイ、先ヅ今日ノ所デハ今ノ政府ガ試ニ計算シテ見タ所ニ據ルヨリ外致方ハナイト考ヘル、サウシマスルト云フト委員長ノ言ハレルヤウニ政府ノ五十萬ハドウモ大キイヤウナ感覺ガスルガ半分ニシタ所デ二十五萬、斯ウ云フ風ナ論ナラバマダ分ル、ソレガ一萬二萬マデ戻ッテ仕舞ハウト云フコトハ決シテナイ、ソレ程杜撰ナ調ハ政府デハ致シテ居ラヌ積リデアリマス、馬屋原君ハ先刻物ガ殖エレバソレダケ差引ガ立ッダラウト言ハレマシタガ、是ハサウイカナイ、殖エル程損ガ行キマス、遞送費ガ掛カル、尙ホ御參考マデニ申上ゲマスルガ、先刻小幡君ハ成ル程十三匁ト云フ例ガ外國ニ在ル、アルケレドモソレハ多分ノ數デハナイト言ハレマシタ、是ハ如何ニモ御尤デ、其代リ亞米利加ノヤウニ目方ノ無制限ノ國デハ非常ニ損ヲシテ居ル、政府ハソレヲ取戻サウトシテ頻ニ苦ンデ居ルケレドモ、サテ一遍斯ウナッタ所ヲ取戻サウト云フコトハソレハ金輪際出來ル話ノモノデナイ、ソレハ誠ニ苦イ顏ヲシテ非常ナ損ヲシテ居ル、ソレデアリマスルカラ此外ノ國ノ例ヲ以テ見マスルト御承知ノ通リ萬國聯合郵便ガ十三匁三厘、五十ぐらひ、十三匁三厘デ二錢、獨逸ハアレダケノ所デゴザイマスガ矢張リ最下限ガ十三匁三厘テ一錢五厘、獨逸抔ハ文明國デ隨分文明ニハ務メテ居ル國デスガ、ソレデモ十三匁三厘デ一錢五厘、五厘ノ三倍ヲ取ッテ居リマスヨ、サウスレバ日本ハ隨分文明ノ爲ニ務メテ居ルト思ヒマス、少シモ文明ノ爲ニ盡シテ居ラヌデハナイ、ソレガ今日十八萬圓モ矢張リ每年御奉公ヲシテ居ルカラ是デ悚ヘテ置イテ戴キタイト云フノデス

○男爵小澤武雄君　委員長ニ御尋シマスガ、十六匁カラ二十五匁ト云フノハ隨分澤山ノ違デアリマスガ、十六匁カラ二十五匁ニシタト云フノハドウ云フ理由デ斯ウ一度ニ殖エルカト云フコトヲ、若モ衆議院ノ理由トスル所ヲ御承知ハアリマセヌカ、アレバソレヲ承リタイ

○子爵岡部長職君　委員會ニ於キマシテモ細カク政府委員ニ承ッタト云フ程

ニモナッテ居リマセヌヤウニ思ヒマスルガ、併シ大體ニ附イテ衆議院ハ矢張リ重量ヲ重クセネバ公衆ニ不都合デアルト云フコトハ承ッタノデアリマス、委シイコトニ附キマシテハ尚ホ御望ガアレバ、ドウカ政府委員ニ御尋ニナッテ衆議院ノ景況ハ十分ニ御承知ニナリタイト思ヒマス

○男爵小澤武雄君　然ラバ政府委員ニ御尋シマズガ、本員ハ此十六条カラ二十五条マデ上グルト云フコトハドウ云フ譯カ承リタイ、ト申スノハ實ハ十六条ヲ二十条位マデニ修正ヲシタイト考ヘテ居ル、ソレデサウ云フ階段ヲ附ケルコトハ不得策デ、矢張リ二十五条ニシナケレバナラヌト云フ理由ガアッタコトト思ヒマスガ、ソレヲ承リタイノデアリマス、政府委員ハ御承知ガアルナラバ御答ヲ煩ハシタイ

〔政府委員久米金彌君演壇ニ登ル〕

○政府委員（久米金彌君）　チョット小澤男爵ノ御尋ハ二十五条マデニ衆議院デ修正ヲシタハドウ云フ理由デアルカト云フコトデアリマシタカ

○男爵小澤武雄君　倍ニモ近イ程ニ上ゲタノデアリマスガ、大抵半バ位デ私ハ宜クハナイカト思フカラ、ドウ云フ理由カ承リタイ

○政府委員（久米金彌君）　衆議院デ二十五条マデト致シマシタノハ、ナゼ二十五条ト云フ二十五ト云フ數ヲ取ッタカト云フコトニ附キマシテハ別ニ據ロガアルヤウニモ私ハ承知致シマセヌ、唯新聞ト云フモノハ文明ノ矢張リ助ニナルモノデアルカラシテ、成ベク保護ヲ與ヘルヤウニ致サネバナラヌ、ソレデ詰リ唯今ノ所デハ十六条ト云フコトニナッテ居ルケレドモ、今ノ所デ追ク新聞ニ致シテモ紙數ヲ殖ヤシテ行カネバナラヌ、又紙質抔モ漸々良イノヲ使フヤウニナラネバナラヌノデ其便宜ヲ與ヘタイ、故ニ二十五条ニシタイト云フノデゴザイマシテ、ナゼ二十五ト云フ數ヲ取ッタカト云フコトニ附キマシテハハッキリト基ク所ヲ承ッテ居リマセヌノデアリマス、ソレカラ十六条ト申スノハ是ハ政府案ノ十六条デゴザイマスガ、是ハ從前カラ即チ現行法ヲ其儘私ノ方デハ政府デハ提出ニナッタ次第デアリマスカラ、チョット申シテ置キマス

○辻新次君　チョット政府委員ニ御尋シマス、先刻略〻分ッタヤウデアリマスガモウ一應伺ヒマス、日本ノ現在ノ大キナ新聞或ハ雜誌ノ中、大キナモノデモ大抵十条以下ニ止ッテ居リマスカ、ソレヲ能ク承ッテ置キタイシ、ソレカラ獨逸デス、色〻澤山例ガ出マシタガ、先ヅ獨逸アタリノ新聞或ハ色〻ノ學術上ノ雜誌、其大キナ雜誌抔ノ先刻ノ十三条……十六条デモ宜シイ、大抵十六条以下位ニ止ッテ居ルモノデアリマスカ、矢張リ十六条ヨリ出テ居ルモノカ、ソレガ御分リニナッテ居ルナラバ承リタイ

〔政府委員久米金彌君演壇ニ登ル〕

○政府委員（久米金彌君）　御答致シマスガ、先刻谷君ノ御問ニ對シテチョット御答致シテ置キマシタガ、甲ノ新聞紙乙ノ新聞紙ト云ウテ新聞紙箇毎ニ附イテ此新聞ハ何条ト云フ調ハ致シテ居リマセヌデス、併ナガラ東京府下アタリデ出テ居リマスル日刊ノ新聞ニ就イテ申シマスト時事新報ガ時ニ十六条以上ニナリマス、他ニモ天長節ノ附錄、或ハ新年ニ澤山紙ヲ增シテ出スト云フヤウナ時ニハ十六条以上ニナルト云フ事實ハゴザイマスガ、多クノ新聞ハドンナモノデアルカト云フト大抵ノ新聞ハ十六条ヲ超エルノハ先ヅ少イト云フコトハ申サレマスガ、其他各種ニ亘ッテハ御答ハ出來マセヌ、雜誌モ太陽抔ハ大キナ雜誌デコヤツハ以前三錢位貼リ居ッタヤウデアリマス、ソレカラ西洋ノ例ヲ一々ニ亘ッテ調ベタモノハゴザイマセヌガ、兎ニ角アッチノ新聞雜誌ハ紙數ハ多シ冊モ大キイヤウニ承知致シテ居リマスガ、是モ委シイ御答ハ出來兼ネマスルヤウナ都合デアリマス

○議長（公爵近衛篤麿君）　大抵議論モ盡キタヤウデアリマスカラ採決致シマス

○男爵小澤武雄君　本員ハ第三種郵便物ノ「二十五条」トアルノヲ一二共ニ「二十条」ト云フコトニ改メタイト云フ修正説ヲ提出致シマス、ト云ヒマスモノハ本員モ二十五条ノ方ヲ望ムノデアリマスガ、若シ成立タナンダナラバ殘念デアリマスカラ中庸ヲ取ッテ此位ニ致シタイ、是ハ俄ニ提出スルノデアリマスカラ、ドウゾ御贊成ヲ得テ成立タセタイト思ヒマス

○田中芳男君　小澤男爵ニ贊成

○伊澤修二君　小澤男爵ニ贊成

○子爵谷干城君　贊成致シマス

○野崎武吉郎君　贊成

○三浦安君　贊成

○飯尾麒太郎君　贊成

○佐藤喜八郎君　贊成

○橋本吉兵衛君　贊成

○柴原和君　贊成

○谷森眞男君　贊成

○辻新次君　贊成

○荒野由次郎君　贊成
○瀧兵右衛門君　贊成
○角田林兵衛君　贊成
○西村亮吉君　贊成
○米谷半平君　贊成
○伯爵大村純雄君　贊成
○最上廣胖君　贊成
○議長（公爵近衛篤麿君）　小澤男爵ノ修正ノ動議ハ成立チマシタ、先ヅ小澤男爵ノ動議ニ附イテ決ヲ採リマス、小澤男爵ノ修正ノ動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
〔「此他「贊成」ト呼フ者多シ」〕
○議長（公爵近衛篤麿君）　小澤男爵ノ修正ノ動議ハ成立チマシタ、先ヅ小澤男爵ノ動議ニ附イテ決ヲ採リマス、小澤男爵ノ修正ノ動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者　少數
○議長（公爵近衛篤麿君）　少數ト認メマス、次ハ委員會ノ修正ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者　多數
○議長（公爵近衛篤麿君）　多數ト認メマス、委員會ノ修正ニ決シマス、次ハ第十九條ヨリ末條マデ問題ニ供シマス
〔「異議ナシ」ト呼フ者多シ〕
○議長（公爵近衛篤麿君）　御異議ガナクバ原案ニ決シマス、ソレデハ二讀會ハ是ニテ終リマシタ
○子爵堤功長君　直チニ三讀會ヲ開カレムコトヲ希望シマス
○子爵錦織教久君　贊成
○議長（公爵近衛篤麿君）　直チニ三讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者多シ〕

○議長（公爵近衛篤麿君）　ソレデハ三讀會ニ移リマス、御異議ガナクバ原案ニ決シマス
〔「異議ナシ」ト呼フ者多シ〕

○議長（公爵近衛篤麿君）　鐵道船舶郵便法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續……本案ヲ二讀會ニ移スベシトシテ御異議ハゴザイマセヌカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者多シ〕
○議長（公爵近衛篤麿君）　ソレデハ二讀會ニ移スベシト決シマシタ
○伯爵大原重朝君　直チニ二讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス
〔「贊成」ト呼フ者多シ〕
○議長（公爵近衛篤麿君）　直チニ二讀會ヲ開クニ御異議ハゴザイマセヌカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者多シ〕

○議長（公爵近衛篤麿君）　ソレデハ二讀會ヲ開キマス、第一條ヨリ第十八條マデ
〔「異議ナシ」ト呼フ者多シ〕
○議長（公爵近衛篤麿君）　御異議ガナクバ原案ニ決シマス、次ハ十九條
第十九條　前數條ノ罰則ヲ適用スル場合ニ於テ鐵道運送業者又ハ船舶運送業者法人ナルトキハ其ノ業務執行社員又ハ取締役ヲ處罰ス
（特別委員修正案）
第十九條　法人ノ業務ニ關シ其ノ代表者又ハ雇人其ノ他ノ從業者前數條ノ罪ヲ犯シタルトキハ其ノ罰則ヲ法人ニ適用ス
法人ヲ處罰スヘキ場合ニ於テハ法人ノ代表者ヲ以テ被告人トス
法人ヲ處罰スルノ裁判確定シタル日ヨリ罰金ニ關シテハ一月以內科料ニ關シテハ十日以內ニ之ヲ納完セサルトキハ民事訴訟法第六編ノ規定ニ從ヒテ其ノ執行ヲ爲ス此ノ場合ニ於テハ檢事ノ命令ヲ以テ執行力ヲ有スル債務名義ト同一ノ效力アルモノトス
前項ニ依リ執行ヲ爲スニハ執行前裁判ノ送達ヲ爲スコトヲ要セス
○議長（公爵近衛篤麿君）　委員會ノ修正ニ御異議ハゴザイマセヌカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
○議長（公爵近衛篤麿君）　ソレデハ此通リニ決シマス、次ハ二十條ヨリ末條マデ
〔「異議ナシ」ト呼フ者多シ〕
○議長（公爵近衛篤麿君）　御異議ガナクバ原案ニ決シマス、ソレデハ二讀會ハ終リマシタ
○伯爵大原重朝君　直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス
〔「贊成」ト呼フ者多シ〕
○議長（公爵近衛篤麿君）　直チニ三讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者多シ〕

○議長（公爵近衛篤麿君）　ソレデハ二讀會ニ移リマス、御異議ガナクバ原案ニ決シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者多シ〕

○議長（公爵近衛篤麿君）　東京市ニ關スル法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

〔子爵岡部長職君演壇ニ登ル〕

○子爵岡部長職君　東京市ニ關スル法律案ニ附キマシテハ、昨日委員會ヲ開キマシテアリマスルガ、政府委員ヨリ本案ニ附イテハ反對ノ意見ヲ陳述サレマシタ、委員諸君ニ於キマシテハ別ニ討論ヲ用ヒズシテ決シマシタ位ナ極ク卽決ト申シテ宜シイ位ナ案デゴザイマス、委員ハ此案ニ贊成ノ意思ヲ表セラレマシタノハ一名デアリマシテ、他ハ皆否決論デアリマシタノデアリマス、唯今述バマシタヤウナ通リノコトデ別ニ委員會ノ經過結果ト分ケテ申上ゲマスル程ノコトモナク、卽チ卽決ノ有樣ヲ以テ否決ト爲リマシタ次第デゴザイマス、此段ヲ御報告致シマス

○議長（公爵近衛篤麿君）　別段御發議ガナクバ採決致シマス、本案ヲ二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○子爵谷干城君　チヨット御尋シマスガ、私ハ委員會ノ報告ノ通リノ考デアリマスガ……

○議長（公爵近衛篤麿君）　ソレナラバ起立ヲナサランデ宜シイ……二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者　少數

○議長（公爵近衛篤麿君）　少數ト認メマス、本案ハ否決ニナリマシタ

○議長（公爵近衛篤麿君）　殖林ノ爲設定シタル地上權登記ニ關スル法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

（特別委員修正案ハ左傍ニ線ヲ施シタル四十字ヲ削除スルニ在リ）

不動產登記法施行前ニ殖林ノ爲設定シタル地上權ノ登記ハ本法施行ノ日ヨリ一箇年內ニ限リ地上權者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得但シ本法施行前適法ニ登記シタル第三者ノ權利ヲ害スルコトヲ得ス

前項ノ申請ヲ爲スニハ其ノ權利ヲ有スルコトヲ證スルニ足ルヘキ官吏、公吏ノ認證シタル書面ヲ添付スルコトヲ要ス

〔男爵千家尊福君演壇ニ登ル〕

○男爵千家尊福君　本案ノ特別委員ニ於テ審査ヲ致シマシタ經過ノ模樣ヲ御報告ヲ致シマス、此案ノ如キ規定ヲ必要ト致シマスノハ奈良縣竝ニ高知縣、德島縣、鳥取縣等ニ最モ必要ナ法デアリマシテ、其中ニ別ケテ必要ヲ感ジテ居リマスノハ奈良縣デアリマス、御承知ノ通リ奈良縣ノ吉野郡ハ奈良全般ノ大部分ヲ有シテ居ル郡デアリマス、此吉野郡ノ殖林ハ實ニ有名ナルモノデアリマスガ、今日ノ如ク吉野郡ノ森林ノ隆盛ヲ見ルニ至リマシタト申スノハ畢竟土地所有者ト立木所有者トノ區別ガアリマシテ卽チ民法ニ所謂地上權ナルモノノ設定ガ古來カラアリマシテ、殖林事業ノ益々發達ヲ致シテ來マシテ今日ノ隆盛ヲ見ルニ至ッテ居ル趣デアリマス、然ル處土地所有者ト立木所有者トノ間ニ於キマシテハ立木一代トカ或ハ數十年若クハ百有餘年ヲ期限ト致シテ契約ヲシテ殖林事業ニ從事ヲ致シテ居ルコトデアリマス、ソレ故ニ立木所有者ニ於キマシテハ此立木ノ賣買、質入、書入等ニ附イテモ維新前ニ於テハ庄屋名主ト云フ者ノ公證ヲ受ケマシタ、維新後ニ至ッテハ戶長其他ノ者ノ公證ヲ經テ賣買、書入、質入等ヲ爲シ來ッテ居ッタ趣デアリマス、又一方ニハ土地ノ習慣ト致シテ立木總代又ハ立木委員トカ申ス者ガ奧書ヲ致シテ、賣買ヲ致シテ居ッタ習慣ガアルコトデアリマスガ、然ルニ十八年ニ至リマシテ舊登記法ノ實施ノ爲ニ遂ニ登記ヲスルコトガ出來ナイト云フヤウナ誠ニ困難ナル事情ニ陷ッタコトデアリマシタ、ソレ故ニ立木所有者カラハ段々其筋ヘモ歎願ヲ致シマシテ、二十三年ニ至ッテ立木ノミノ賣買書入質入等ハ總テ建物ト等シク不動產トシテ登記ヲ請フコトノ出來ルヤウニ訓令ヲ發セラレマシテ、ソレニ依ッテ爾來取扱ウテ來テ居ッタコトデアリマス、然ル處民法實施ニ附キマシテ地上權登記ノ期限ヲ一箇年以內ト定メラレマシタニ附キマシテ、所ガ不動產登記ノ實施ガ大イニ遲レマシテ民法ニ於テハ一箇年ノ期間ヲ與ヘラレマシタニ拘ラズ、不動產登記法ノ實施ガ大イニ遲レマシタ爲ニ僅ノ一箇月バカリノ期間ニ登記ヲ悉ク請求セネバナラヌト云フ困難ナ有樣ニ立至リマシタ、之ガ爲ニ遂ニ登記ヲ仕了ヘナイト云フヤウナ今日ノ現狀ニナリマシタ次第デアリマス、デ高知、德島、鳥取等ノ諸縣ニ在ルモノハ至ッテ僅少ナモノデアリマスケレドモ、奈良縣吉野郡ノ如キハ十五萬有餘ノ件數ニ渉ルト云フヤウナ夥シイコトデアリマシテ、今日甚ダ立木所有者ニ於テハ困難ヲ致シテ居ル次第デアリマスカラ、此法律ヲ是非施行ニナリマシテ、立木所有者ノ

從來得テ居ル所ノ權利ヲ保全スルト云フコトハ最モ必要ナコトデアラウト存ズルノデアル、而シテ委員會ニ於キマシテ、此但書ヲ削除致スコトニ修正ヲ致シマシタコトデアリマシテ、何ゼ此但書ヲ削除致シマシタカト申シマスレバ、御承知ノ通リ登記ノ手續ヲ極メテアッテ、ソレニ但書ニ實體法ノ規定ヲスルト云フコトハ少シク法律ノ體裁上穩ニナイト云フコトト、今一ツハ實際ニ於テ斯ノ如キ事柄ハナイモノデアルト認メマシタコトデ、ソレハ何ニ依ッテ證スルコトデアルカト申シマスレバ、奈良縣ノ吉野郡ノ十五萬件アル澤山ノ中ニ於テ斯ノ如キ事實ハナイト云フコトヲ其地方ニ在ル諸君ニ……委員中ニ其地方ノコトニ委シイ御方ガアリマシテ段々委シク實際ノ模樣ヲ承リマシタコトデアリマシテ、偶〻斯樣ナモノガアリマシタト致シテ見テモ、ソレラハ惡意ヨリ生ズルモノデアラウト考ヘマスカラ但書ヲ加ヘテ之ヲ保護スルノ必要ハナイト認メマシタ次第デアリマス、ソレカラ又第二項ニ至ッテ「官吏公吏ノ認證シタル」ト云フ文字ヲ削除致シマシタノハ是ハ公吏トアリマスト云フト現ニ御報告致シタ通リ立木總代又ハ立木委員トカ云フ名稱ヲ以テ證明ヲ致シテアル所ノ書面ヲ添付致シマシテモ權利ヲ有スルコトヲ證明スル價値ノナイコトニナリマスカラ、ソレラノ點カラ致シテ「官吏公吏ノ認證シタル」ト云フ文字ヲ削除ヲ致シマシテ其權利ヲ有スルコトヲ證スルニ足ルベキ書面デアレバ添付サセルノガ事實ニ適スルト云フノデ斯ノ如ク修正ヲ致シマシタ次第デアリマス、デ尚ホ之ニ附キマシテハ司法省ノ政府委員ニ意見ヲ尋ネマシタ所ガ政府委員ハ之ニ同意ヲ致サレタコトデアリマス、尚ホ念ノ爲ニ農商務省ハ殖林事業ニ關係ノアルコトデアリマスカラ農商務政府委員ノ意見ヲ問ヒマシタ所ガ農商務政府委員ニ於テモ斯ノ如ク法律ノ規定アラムコトヲ切望シテ居ルト云フ答辯ヲ得マシタコトデアリマス、尚ホ此法律上ノコトニ附イテ御質疑モアリマスレバ委員中カラ又御答ヲ致スコトニ致シマス、此段御報告ニ及ビマス、尚ホ成ルベクハ讀會ヲ省略致サレマシテ速ニ決議アラムコトヲ添ヘテ請求ヲ致シマス

○中西光三郎君　讀會省略ニ贊成

○男爵本多副元君　贊成

○子爵小笠原壽長君　贊成

○男爵渡邊清君　贊成

○小原重哉君　贊成

○男爵小澤武雄君　贊成

〔此他「贊成」ト呼フ者多シ〕

○子爵丹羽長保君　質問ガアリマスガ宜シウゴザイマスカ

○議長（公爵近衛篤麿君）　宜シウゴザイマスガ、讀會省略ノ動議ガ成立ッテ居リマスカラ先ヅ其方カラ決シマセウ、讀會省略ノ動議ニ同意ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス

起立者　多數

○議長（公爵近衛篤麿君）　三分ノ二以上ト認メマス、讀會ハ省略ニナリマシタ

○子爵丹羽長保君　唯今委員長カラノ報告ニ依リマシテ尚ホ委シイコトハ或ハ委員中カラ說明サレルデアラウト云フ御話デアリマシタガ、此但書ノ削除デアリマスガ、委員長ノ報告ニ依リマスルト奈良縣吉野郡アタリデハ實際斯ウ云フコトハアルマイ、縱シンバアッテモソレハ故意デアッテ善意ノ場合デハアルマイト云フ御說デアリマシタガ、ドウデアリマセウカ私ニハ能ク分リマセヌカラ卽チ質問ヲ致スノデアリマスガ、此本法施行ノ日ヨリ一箇年內ニ限ッテ申請ヲシ、申請ヲシタ所ガ其土地ニ附イテハ旣ニ施行前ニ登記シタル第三者ガアッタ場合ニハ善意デアッテモ財產ヲ害スル場合ガ出來ハ致シマセヌカ、其邊ノ所ヲ伺ヒマス

○富井政章君　本員ハ委員ノ一人デアリマスガ、此但書削除ノコトニ附テ本員ニ於テハ之ヲ削除シタ理由ヲドウ解シテ居ルト云フコトヲ一言申上ゲマス、唯今御尋ニナリマシタ點ハ委員會ニ於テモ再三、司法省政府委員ニ尋ネタコトデアリマス、實際此但書ヲ置ク必要ガアルカ、若シナイトスレバ手續法ニクッ附ケタヤウナ規定デアルガ故ニ除イタ方ガ法文ノ體裁ハ宜カラウ、カルガユエニ政府委員ニ質問スル人ガアリマシタ所ガ政府委員ニ於テハ但書デ想像スル如キ不測ノ損害ヲ被ル第三者ハ決シテナカラウ又奈良縣ノコトニ委シイ委員ハ奈良縣ニ於テ決シテ一人モ其三者ニ當ル者ハナイト云フコトヲ信ズルト云フコトデアッタ、假令萬々一アッタトシテモソレハ奈良縣ノ立木ト云フモノハ久シキヨリ存シテ居ルモノデ誰ガ見テモ一點ノ疑ノナイモノデアルカラ、ソレヲ質ニ取ラウト抵當ニ取ラウト云フモノハ惡意ノ者デ十分ニ事情ヲ知ッテ其權利ヲ取得スル者デアルカラ斯ノ如キ但書ヲ設ケテ之ヲ保護スル必要ハナカラウ、兎モ角斯ノ如キ保護ヲ受ケサセル必要アルモノハナカラウト云フコトデアッタ、ナイトスレバ登記手續ニ關スル規定ニ民法ニ載セベキヤウナ實體法上ノ規定ヲ合セルト云フコトハ法文ノ體裁上宜シキヲ得ナイコトデアラウト云フノデ全會一致デ除クコトニ決シタト解シテ居リマス

○子爵谷干城君　是ハ委員會ノ修正ノ通リヲ私ハ贊成致シマス、ドウカ速ニ議決ヲ望ミマス

○議長（公爵近衛篤麿君）　委員會ノ修正ノ通リニ決シマシテ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵近衛篤麿君）　然ラバ其通リ決シマス

○議長（公爵近衛篤麿君）　支那調査會ノ事業助成ニ關スル建議案、侯爵黒田長成君外七名發議、會議

支那調査會ノ事業助成ニ關スル建議案

右貴族院規則第六十四條ニ依リ提出候也

明治三十三年二月十二日

發議者　侯爵黒田長成　子爵長岡護美

子爵曾我祐準　子爵堀田正養

村田保　男爵吉川重吉

高橋新吉　三崎龜之助

賛成者　公爵二條基弘

外六十一名

貴族院議長公爵近衛篤麿殿

支那調査會ノ事業助成ニ關スル建議

支那ノ邦タル帝國商工業ノ大吐口タルト同時ニ列國商工業ノ競爭場タルハ今亦言ヲ待タス是ヲ以テ列國就中英露獨佛白米等ノ諸國ハ夙ニ調査員ヲ此ノ地方ニ簡派シ精到周密ノ調査ヲ遂ケ各自利益ノ擴張ニ資シタル實ニ鮮少ト爲サス從テ支那ニ對シ是等列國ノ商工業ハ近年非常ノ發達ヲ致スモノアリ此ノ際帝國ノ現狀如何ト顧レハ貿易ノ事業年々些ノ進歩ヲ見サルニ非ルモ彼我對岸ノ間ニ在リテ習慣風俗崇尚嗜好需用供給社交交通等ニ無比ノ便宜ヲ有スル帝國ノ進爲トシテハ實ニ逗撓澁滯タルヲ免レス是畢竟彼岸ノ事情ト利益ノ實體トノ未タ明カニ我カ邦人ニ認メラレサルニ由ラスハアラス

顧フニ我カ官民公私ノ間商工業ニ關シ從來調査ヲ試ミタル者無キニ非ス然レトモ調査ノ區域及事項概ネ偏窄狹小ニシテ未タ彼邦ニ對シ百般商工業ノ駸進竝馳ニ資スルニ足ラス各種ノ當業者之ヲ憂ヒ相議リテ支那調査會ヲ設立シ調査上必要ノ商工業者及專門ノ技術者ヲ彼岸ニ簡派シ觀ルヘキノ規模ニ由リテ調査ノ事業ニ著手セントス此ノ事業ノ成功如何ハ獨リ其ノ當事者ヲ損益スルノミナラス併セテ帝國一般商工業ノ進歩發達上ニ勘カラサル影響アルヘキヲ信ス故ニ政府ハ之ニ對シ相當ノ助成金ヲ與ヘ其ノ目的ヲ貫徹セシメムコトヲ望ム

右建議候也

〔三崎龜之助君演壇ニ登ル〕

○三崎龜之助君　支那調査會ノ事業助成ニ關スル建議案ヲ黒田侯爵ヲ始メ我ク共提出ヲ致シテ置キマシタ、之ニ附イテ提出者ニ代リマシテ私ガ簡單ニ說明ヲ申上ゲテ置キマスガ、此支那ト我カ日本ノ關係、先ヅ商工業ノ發達ノ爲ニ益ス彼ヲ知ルト云フノ必要ハ今更私ガ此處デ申上ゲルマデモナク各位ノ疾ニ御承知ノコトト存ジマスルカラ別段申上ゲマセヌ、既ニ其必要ヲ感ジテ同志ノ者竝ニ其道ニ關係ノアル實業者トモ寄リマシテソレデ、支那ニ關スル事柄ヲ調査スル會ヲ組織シマシタノデ其組織シマシタ其目的竝ニ調査ノ區域事項等ヲ段々調ベテヤッテ見マスルガ、中々ノ大事業デ區域モ餘程廣ウゴザイマスルシ、又進歩スベキ所ノ事業モ餘程數ガ多イノデゴザイマスルデ、固ヨリ其組織シタ實業團體其他一個人其外有志ノ諸士ヨリハ十分ニ寄附ヲスルコトニナッテ居リマスケレドモ、何分事柄ガ大キイコトデゴザイマスルカラ、到底其寄附金デ以テ目的ヲ達スルト云フコトハ殆ド難イノデアリマス、而シテ其事柄タルヤ實ニ今日ニ於テノ急務デアッテ、一日モ早ク其事ヲ遂ゲナケレバナラヌ、モウ既ニ此事ヲ企テルト云フコトハ今日ニ於テ既ニ遲レテ居ルト言ハナケレバナラヌ程ノ急ナ事柄デアリマス、依ッテ我ク共ハ一方ニ其目的ヲ贊助シ一方ニ一日モ早ク遂行セシメムコトヲ熱中シマシテ、ソレデ已ムヲ得ズ國家ノ助成ヲ仰ガネバナラヌト云フコトニ至リマシタノデアリマス、固コリ今日ニ至ッテハ何事モ總テ國家ノ助成ヲ仰グト云フヤウナ傾デアッテ、動モスルト弊害ニ陷リハシナイカト云フ嫌モナキニシモアリマセヌガ、此事タルヤ元來國家ノ事業トシテモ當然ノコトト思ハレマシタノデ、然ルヲ私立デ以テ奮然ヤラウト云フノデアリマスカラ、或ハ他ノ事業者トハ餘程其趣ヲ異ニシテ居リマスルデ、敢テ國家ニ向ッテ助成ヲ仰ギマシテモ其當ヲ失スルモノトハ思ハレマセヌ、依ッテ何卒我ク ノ主旨ヲ御熟考ノ上御贊同アラムコトヲ希望致シマス

○子爵谷干城君　是ハ私ハ耳新シイ調査會ト思フ、言フモノハ亞細亞協會、東

邦協會、東亞同文會ト云フモノハ心得テ居リマスガ、是ハドウ云フモノデ、イツ頃立ッタンデアリマスカ

○三崎龜之助君　此ハ九月頃カラ始マリマシテ今日歩武ヲ進メツヽ居ルノデアリマス

○子爵谷干城君　昨年ノ九月

○三崎龜之助君　ハイ

○子爵谷干城君　サウシテ其調査ト云フノハ、此說明ニモ甚ダ簡單デ分ラヌノデスガ、定メテ御提出ニナル以上ハ、ソレヅレノ事項ト云フモノモ定ッデ、ソレニ依ッテ御出シニナッテ居ルト云フコトデアリマセウガ、大略ノ目的ト云フモノヲ御說明ヲ願ヒタイ

○三崎龜之助君　此調査會ノ事業ト云フモノハドウ云フモノデアルカト云フト、編纂ト探檢ノ此二業ヲ目的トシテ居ルノデ、サウシテ其編纂ノ方ニナリマスルト、是マデモ政府或ハ一私人ニ於テ調ベテ居ッテ我ガ國民又ハ當業者ノ最モ知ラナケレバナラヌ材料ヲ蒐集シマシテ之ヲ編纂ヲシテ當業者若クハ一般ニ出來ルダケ知ラシメルト云フ目的、ソレカラ同時ニ其道ニ明ルキ各々ノ調査事項ノ性質ニ依テ適任ノ者ヲ彼地ニ派遣シテ實地十分取調ベサセマシテ、サウシテ其報告ヲ更ニ蒐集シテ編纂ヲシ我ガ國民ニ發布シテ彼ノ國ノ事情ヲ其事項毎ニ就イテ詳細ニ知ラセヤウト云フ目的ナノデス、ソレデ調ベルノヲドウシテ行クカト云フコトニ附イテ唯今此豫定計畫ヲシテ居リマスル所ニ依リマスルト、先ヅ調査ノ區域ヲ支那全體トハシマセヌガ、最モ商工業ニ關スル事項ヲ調ベルノガ此目的デゴザイマシテ、其他政治或ハ教育等ノコトニ至リマシテハ此會ノ目的以外デゴザイマス、商工業ニ關スル……廣イ意味ニ於ケル商工業ニ關スル事柄ヲ調ベマスノガ目的デゴザイマスルカラ、ソレデ其支那ノ國ヲ六區ニ分チマシテ、サウシテ一區毎ニ時期ヲ見計ッテ調ベテ行カウ、ソレデ先ヅ調ベル事項ハドウ云フヤウナコトヲヤルカト云フト、段々評議ノ結果、唯今ノ所デハ先ヅ十七八程アルノデアル、譬ヘテ申シマスレバ彼ノ地ニ於ケル鐵道線路ノ如キ、鑛山ノ如キ、或ハ沿海河川ノ航海業ノ如キ、又ハ金融機關ノ如キ、又ハ向フノ海關稅ノ如キ、或ハ彼等ノ物產ノ集散運輸ノ便ダトカ云フヤウナモノニ於テ、此商工業ニ關スル事項ヲ調ベル事項ヲ集メテ居ルノデアリマス

○子爵谷干城君　凡ソ金高ハドノ位ノ積リデアリマスカ、是ハ補助セイト云フナレバ是ハ提出者ガドノ位ト云フノ御希望ガアラウト思ヒマスガ

○三崎龜之助君　マダソレハ極ク豫算デハゴザイマスルケレドモ、唯今申上ゲマスル通リ餘程區域モ廣ウゴザイマスルシ、ソレカラ調査ノ事項モ數ガ多ウゴザイマスカラ、此專門家ヲ派遣スルコトヲ要スル事項モ多ウゴザイマスルカラ、十分積リマスレバドウシテモ此探檢費トシテ七萬圓位ハドウモ年々要スルダラウト思フノデアリマス、ソレカラ其外先ヅ編纂等ニ從事シ且ツ其費用等モ要リマスルデ、是等モ無論此會ヲ組織シテ居ル者等ガ寄附ヲシテヤリマスル、是モ小一萬圓ノ金ヲ要スルノデゴザリマスデ、全ク是ハ其有志ノ唯彼我ノ事情ヲ明ニスル熱中ヨリ來ッタ會デ、寄附金等ニ至リマシテモ今日ノ場合デハ思ノ外好結果ヲ得テ居ルノデス

○子爵谷干城君　是ニテ意見ヲ述ベテ宜シウゴザリマスカ

○議長（公爵近衛篤麿君）　宜シウゴザリマス

○子爵谷干城君　私ハ甚ダ是ハ不贊成デゴザリマス、全體是マデ成立ッテ居ル所ノ亞細亞協會、東邦協會、東亞同文會、斯ウ云フ三ツノ種類ガ既ニ成立テ居ル、ケレドモ兎角孰モ金ノナイ爲ニ十分ノ事ガ出來ナイ、ソレニ附イテ稍ゝ見ルベク前途ノ望ヲ屬シテ居ルモノハ東亞同文會デアル、デ此東亞同文會ト云フモノガ丁度今三崎君ノ申サレタヤウナ事柄ヲ追ゝニヤルコトガ出來ヤウト思フ、段々文學上ノ交際、商工業ノ交際等ハ此東亞同文會ニ依ッテセラレルコトモ出來ヤウト思フ、又編纂ト云フコトヲ仰ッシャルケレドモ、支那ノコトニ附イテハ四千年ノ歷史ヲ持ッテ居ル土地ノ色ゝ變遷シテ居ル事柄デアルカラシテ、中ゝ此編纂モムツカシイ譯デアル、又此支那ニ對シテノ編纂ト云フモノガ日本人ノ著述モアリマス、ソレモ私ハ讀ンデ見タ、又西洋人ノ著シタ書物モアラウト思フ、是等ノ西洋人抔ノ著シタ書物ニ附イテハ私ノ考ハドウゾ成ルベク政府ガ翻譯シテ政府ガ商工業者ニ益ヲ與ヘルヤウニシタイト思フ、デ一方ニ商工業ノ互ニ懇親ヲ結ビ互ニ同文ノ私交ヲ以テカラニ相親シミ相結ブト云フコトハ同文會ト云フモノヲ之ヲ世話ヲスレバ足リルト思フ、別ニ支那調査會ト云フモノヲ設クルノ必要モナシ、ソレモ起ッテ見レバソレハソレデ宜シイガ、政府ガ之ヲ助成スル必要ガナイト思フ、政府ガ助成スレバ助成スルノ仕樣ガアラウト思フ、斯ウ云フヤウナ種類ガ幾ツモ成立ッテ其結果ガ十分ノ結果ヲ見ナイ、今マデ支那ノ事ヲ等閑ニシテ居ッタト云フモノハ日本人ノ不覺デアルカラ、是ハ益ゝヤラネバナラヌ、特ニ商工業者ハ金ヲ出シテモヤラネバナラヌカラ、是等ハ商工業者ガ本當ニ力ガアレバヤルベキモノデアル、是亦毎度本員ノ申スヤウニ實益ヲ圖ル、株ノ相場デ利益ヲ得ヤウト云フヤウ

ナコトカラ等閑ニナッテ居ルノデアル、詰リドウモ政府ノ助成助成ト云ウテカラニ斯ノ如キモノガ澤山出來ルト云フコトハ、ドウモ私ハ仕方ガナイト思フ、依ッテ自然ニ成立ツモノハ宜イガ新ニ之ヲ起スニハ及ブマイト思ヒマスカラ私ハ此建議案ニハ絶對的ニ反對ヲ致シマス

○子爵曾我祐準君　唯今谷子爵ヨリ本建議案ニ附イテ反對ノ御論ガ出マシタガ、要スルニ谷子爵ハ此支那調査會ト云フモノニ附イテマダ十分ニ御了解ガナイト思ヒマス、三崎君ガ先刻ハヤ時間モ過ギテ居リマスルシ且ツ諸君モ餘程議場ヲ御飽キノ樣子デアルカラ極メテ簡短ニ三崎君ハ述ベラレマシタ、ソレデ本員ハ今ヨリ委シク說明セムト欲スル者デハアリマセヌガ、此谷君ハ多少調査會ト云フモノヲ誤解ナサッテ居ルト思ヒマスカラ其邊ヲ辯ジタウゴザリマス、谷君ハ東亞同文會ト云フモノガアル、アンナモノデ宜シイト言ハレマシタ、併シ東亞同文會ト支那調査會ト云フモノトハ大變ニ性質ガ違ヒマス、谷君ハ東亞同文會ノ幹事ナリ評議員ナリニナッテ居ラレマスデ、アノ方ハ御存知デアリマセウカラ其方ハ辯ジマセヌガ、此支那調査會ト云フ方ハ先刻三崎君モ言ハレマシタ通リ一ハ編纂ヲ致シテ一ハ探檢ヲ目的トシ、編纂ト云フコトニ附イテハ谷君ハ色々御述ニナリマシタ、ソレハ支那ノコトデアリマスカラ日本人ノ普通ノ人ニ讀メル書物モ澤山アルガ、是ハ昔ノコトデ役ニ立ツモノデハアリマセヌ、ソレカラ又歐羅巴人ノ間ニ成レル書物ヲ翻譯シタラ宜カラウト申サレマシタガ、其翻譯モ我々ハ滿足ヲシイノデアリマス、歐羅巴人ノ眼ヲ以テ見タ支那ト日本人ノ眼デ以テ見タ所ノ支那トハ違フ、尤モ歐羅巴人ノ新シイ文明ノ眼ヲ以テ見タモノデモイケナイ、日本ノ文明ノ今ノ程度ヲ以テ見ニャア何ニモナラヌ、支那人ガ書イタノモ歐羅巴人ガ見タノモ誤ガアル、編纂ノ一事ニ於テモ日本人ノ今日ノ眼デ見タ所ヲ以テ編纂ヲシ、探檢ノ事モ實地履マネバイカヌ、日本人ガ歐羅巴人ノ報告抔ヲ見テソレデ滿足ヲスルト云フコトハ到底爲シ能ハヌ、其探檢ノ箇條ノ如キハ先刻三崎君モ述ベラレタ中ニ段々箇條ガアリマシタガ、是ハ實ハ大事業デ、私抔モ此會員デアルガ、到底是ダケノモノデ成シ得ラレルヤ否ヤト云フコトハ危ンデ居リマス、サリナガラ此幾分ハ必ズ遂ゲラルルデアラウト思ッテ居ル、マルデ此調査會ト同文會ト云フモノハ非常ニ性質ガ違ッテ居ルト云フコトト、ソレカラ編纂ノコトニ附イテモ非常ニ力ヲ要サナクテハナラズ、探檢ノ如キハ實地踏ミ入ッテ其專門家ヲヤッテ探檢サセヌ以上ハ遊歷者或ハ詩文抔ノ達者ナ人ガ支那ヲ見テ山ガ笑フトカ川ハ躍ルトカ云フヤウナコトヲ書イタノデハ今日ハ何ニモナラヌ、ソコラハドウゾ混ジナイヤウニ御了解下スッテ同文會トモ甚ダ違フ、此事柄ハ廣大ニシテ甚ダムヅカシイト云フコトヲ御了解ヲ願ヒマス

〔子爵谷干城君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長（公爵近衛篤麿君）　谷君ハ何デスカ

○子爵谷干城君　曾我君ノ發言ニ附イテ……

○議長（公爵近衛篤麿君）　ソレハ二回ノ發言ニナリマス

○村田保君　唯今マデ委員會ニ居リマシテ一向存ジマセヌガ、谷君カラ段々御反對ガ出マシタヤウデゴザリマス、ドウモ支那調査會ヲ立テマシテ卽チ農工商ヲ隆盛ニシマスニハ、ドウシテモ支那ノ調査ト云フコトヲシナクテハナラヌ、農工商ヲ支那ニ盛ニスルト云フコトハムヅカシイ、ソレ故ニ實業團體ノ中、漁業組合ノ十幾ツト云フモノモ是等ハ希望シテ寄附金ヲシテモ宜イカラサセテ呉レト云フ位ノ希望モアルノデスカラ、ソレニ此調査ヲスルノヲ惡ルイト云フコトハ決シテナイト思ヒマス、マダ實ハ本員モ此事ニ附イテハ長ク述ベタイコトモアルガ時間モ逼迫シテ居リマスカラ極ク必要ダト云フコトダケヲ述ベテ置キマス

〔「採決ヲ願ヒマス」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵近衛篤麿君）　モウ大抵採決ヲシテモ宜カラウト思ヒマス、本建議案ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者　多數

○議長（公爵近衛篤麿君）　過半數ト認メマス、今朝來御委託ニナリマシタ特別委員ノ氏名ヲ御報道致シマス

〔太田書記官長朗讀〕

明治三十一年度豫備金支出ノ件外三件特別委員

子爵京極高典君　子爵大河內正質君　子爵黑田和志君
中村元雄君　男爵小早川四郎君　西村亮吉君
湯地定基君　富田鐵之助君　井狩彌左衛門君

商法施行前登記ナキ株式會社ノ登記ニ關スル法律案特別委員

子爵鍋島直彬君　子爵鍋島直虎君　子爵永井尙敏君
辻新次君　名村泰藏君　男爵杉溪言長君
松本鼎君　折田平內君　橋本吉兵衛君

○議長（公爵近衛篤麿君）　明日ノ日程ヲ御報道シマス

〔太田書記官長朗讀〕

午前十時開議

第一　鐵道營業法案（政府提出衆議院送付）　第一讀會

第二　右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選擧

第三　私設鐵道法案（政府提出衆議院送付）　第一讀會

第四　右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選擧

第五　日本勸業銀行法中改正法律案（政府提出）　第一讀會ノ續（特別委員長報告）

第六　裁判所及臺灣總督府法院共助法案（政府提出衆議院送付）　第一讀會ノ續（特別委員長報告）

第七　重要物產同業組合法案（衆議院提出）　第一讀會ノ續（特別委員長報告）

第八　自家用醬油稅法案（衆議院提出）　第一讀會ノ續（特別委員長報告）

第九　關稅定率法附屬輸入稅表中改正法律案（衆議院提出）　第一讀會ノ續（特別委員長報告）

第十　北海道水產稅則廢止法律案（衆議院提出）　第一讀會ノ續（特別委員長報告）

第十一　滿期軍用馬匹ニ關スル建議案（伯爵坊城俊章君外四名發議）　會議

第十二　順德天皇御遺跡保存ニ關スル建議案（兒玉淳一郎君外一名發議）　會議

○議長（公爵近衛篤麿君）　今日ハ散會

午後零時三十三分散會